

2026年度

東京藝術大学

大学院音楽研究科(修士課程)

学生募集要項

本学所定の出願様式は本要項に添付している。

2025年7月

東京藝術大学

〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8
入試情報サイト

<https://admissions.geidai.ac.jp/>

受験上の注意事項

- (1) 試験日程（集合時刻・試験時刻）及び合格者受験番号等試験に関する諸事項は、本学「入試情報サイト」（<https://admissions.geidai.ac.jp/>）で発表する。

試験実施日時は、出願者数の多寡により多少変更することがある。その場合、2025年9月15日（月）午後2時以降（作曲専攻については2026年2月5日（木）午後2時以降）、試験に関する注意事項と同時に新日程を本学「入試情報サイト」で発表するので、受験者本人が必ず確認すること。（「XVIII 入学者選抜試験実施日程表」を参照のこと。）

- (2) 試験に関する諸事項は、本学「入試情報サイト」により発表するので、常に注意すること。なお、記載された番号は、本学受験票の受験番号である。
- (3) 実技試験における「試験の順番」は、係員の指示によること。
- (4) 試験当日は、定められた集合時刻を厳守すること。なお、実技試験において、定められた集合時刻に遅れた者には受験を許可しない。（万一やむを得ない事情により遅れた場合は、ただちに係員に申し出ること。）
- (5) 試験当日、受験者（伴奏者を含む）は、試験に関する掲示により発表された「集合場所及び控室」に入り、以後はすべて係員の指示に従うこと。
- (6) 不正行為があった時は、当該試験を失格とし、以後の受験を認めない。
- (7) 以下の行為を禁じる。違反した場合は、当該試験を失格とし、以後の受験を認めないことがある。
- ・「集合場所及び控室」での発声または楽器の練習
 - ・「集合場所及び控室」から試験場へ行く途中の廊下等での発声または楽器の練習
 - ・音出し室、控室にあるピアノの使用（ただし、ピアノ研究分野受験者及び各専攻など受験者の伴奏者は、係員の指示に従うこと。）
 - ・本学建物内での全ての録音及び写真・映像等の撮影
 - ・携帯電話及び通信機能を備えた電子機器等の使用
 - ・志願者、伴奏者共に楽譜使用が認められている試験におけるタブレット端末の使用
- (8) 受験の際は、常に受験票を携帯し、入構の際は、守衛所の係員に提示して入構すること。万一受験票を忘れた場合には、係員に申し出ること。
- (9) 携帯電話及び通信機能を備えた電子機器等を持ち込んだ場合は、電源を切ってかばん等に入れておくこと。
- (10) 食事のために学外に出る場合には、正門出入りの際、守衛所の係員に受験票を提示すること。
- (11) 試験に関する電話による問い合わせには、原則として応じない。
- (12) 本学に駐車場はない。
- (13) 合格者の受験番号は本学「入試情報サイト」にて掲載する。音楽学部内の掲示は行わない。

目 次

○大学院音楽研究科アドミッション・ポリシー	1 ページ
I 募集人員	1 ページ
II 選抜方法	1 ページ
III 出願資格	2 ページ
IV 標準修業年限	3 ページ
V 出願手続	4 ページ
VI 選抜試験場	16 ページ
VII 試験科目	17 ページ
VIII 試験科目の詳細	19 ページ
IX 選抜期日	44 ページ
X 最終合格者の発表	44 ページ
X I 入学手続き等について	45 ページ
X II 入学金・授業料の免除・徴収猶予について	47 ページ
X III 修学支援奨学金（給付型）について	48 ページ
X IV 奨学金，特待生について	48 ページ
X V 「特に優れた業績による返還免除」修士課程内定制度について	48 ページ
X VI 研究室及び指導教員	49 ページ
X VII 個人情報の取り扱いについて	50 ページ
X VIII 入学者選抜試験実施日程表	51 ページ
受験曲目提出用紙	添付
研究計画書	添付
志望理由書	添付

○ 大学院音楽研究科アドミッション・ポリシー

音楽研究科修士課程は、学士課程と比較して、より深い理解と解釈に基づいた質の高い演奏表現・技術を持った演奏家、ならびに幅広い見識や関心に支えられたより深化した専門研究を展開出来る人材を求めています。そのために選抜試験においては、実技、音楽史、語学、面接、小論文等を総合して行い、多角的にその実力を評価します。

I 募集人員

専攻	研究分野	募集人員
作曲	作曲	7名
	エクリチュール	
声楽	声楽	12名
オペラ	オペラ	8名
器楽	ピアノ	45名
	オルガン	
	弦楽	
	管打楽	
	室内楽	
指揮	指揮	3名
	三味線音楽*	
邦楽	箏曲	9名
	尺八	
	能楽	
	能楽囃子	
	邦楽囃子	
音楽文化学	日本舞踊	29名
	音楽学	
	音楽教育	
	ソルフェージュ	
音楽文化学	音楽文芸	29名
	音楽音響創造	
合計		113名

〔注意〕

(1) 志願者は、志願する専攻中の1つの研究分野に限り出願することができる。

(作曲は、作曲・エクリチュールのいずれかを選択する。声楽及びオペラは、声種1つを選択する。室内楽は、個人・グループのいずれかを選択する。)

(2)(*)三味線音楽研究分野には、次の専門種がある。

長唄三味線、常磐津三味線、清元三味線、長唄、常磐津、清元

(3) 外国人留学生に関しては、次の専攻において別枠で募集し、募集要項も別枠で発行しているので、注意すること。

作曲、声楽、オペラ、器楽、指揮、邦楽及び音楽文化学（音楽学・音楽教育・音楽文芸・音楽音響創造）。

※本要項による募集と、別枠の外国人留学生の募集は併願できない。

(4) 音楽教育研究分野において、「一般入試」と併せて「社会人入試」を実施する。募集人員は若干名とし、左表「募集人員」に含む。

II 選抜方法

入学者の選抜は、「専門試験・語学・基礎学科目（音楽史）・面接・音楽に関する基礎能力検査の各成績及び出願時提出資料」に基づき総合して判定する。

Ⅲ 出 願 資 格

本学大学院音楽研究科(修士課程)に出願できる者は、次の各項の1つに該当する者とする。

1. 学校教育法（1947年法律第26号）第83条に規定する日本の大学を卒業した者（2026年3月までに卒業見込の者を含む）
2. 学校教育法（1947年法律第26号）第104条第7項の規定（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）により学士の学位を授与された者（2026年3月までに授与される見込の者を含む）
3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者（2026年3月までに修了見込の者を含む）
4. 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者（2026年3月までに修了見込の者を含む）
5. 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者（2026年3月までに修了見込の者を含む）
6. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者（2026年3月までに修了見込の者を含む）
7. 文部科学大臣の指定した者（1953年文部省告示第5号，1955年文部省告示第39号，第1号，第2号参照）
8. 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者（2026年3月までに授与される見込の者を含む）
9. 出願資格1～8に該当しない者のうち、本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの

※上記出願資格9により出願を希望する者は、事前に出願資格審査を受ける必要があるので、至急音楽学部学生募集係に必要書類を請求し、2025年7月11日（金）必着で郵送にて提出すること。

※出願資格に不明な点がある場合は事前に音楽学部学生募集係へ問い合わせること。

●音楽教育研究分野「社会人入試」志願者の出願資格は以下のとおりとする。

上記「Ⅲ 出願資格」に該当し、現職教員及び教育関係諸機関に在職している者(*1)で、出願時において常勤の職にあって、3年以上の経験(*2)を有する者、または出願時において非常勤の職にあり、本学の定める要件を満たしていると認められる者(*3)。

* 1 「現職教員及び教育関係諸機関に在職している者」とは、以下の(a)~(g)のいずれかに該当するものをいう。

- (a) 学校教育法（1947年法律第26号）第1条に規定する学校の教員
- (b) 教育公務員特例法（1949年法律第1号）第2条に規定する教育公務員
- (c) 学校教育法（1947年法律第26号）第124条に規定する専修学校の教員
- (d) 学校教育に類する教育を行うもののうち、他の法律に特別の規定がある機関で教育又は研究の職に従事している者
- (e) 教育相談機関において、教育相談又はカウンセリングの職に従事している者
- (f) 「社会教育主事補の職と同等以上の職及び社会教育に関係のある事業における業務であって、社会教育主事として必要な知識又は技能の習得に資するもの並びに教育に関する職の指定（平成八年八月二八日文部省告示第一四八号）」第一号1~7に示された職に従事している者
- (g) 障害児（者）の社会福祉施設・機関において、教育、指導、療育又はセラピーの職に従事している者

* 2 経験年月数について

- ・経験月数が1か月未満の場合は、1か月に切り上げて算出する。
- ・休職期間は、経験年月数に算入しない。

* 3 非常勤の職にある者は、以下のイからニの要件をすべて満たしている場合、社会人入試の対象となる。詳細については事前に音楽学部学生募集係まで問い合わせること。

- (イ) 本人の従事する職務内容が、常勤の現職教員等が本務とする教育・指導・研究等に準じたものであること。
- (ロ) 出願時において、教育等の経験年数が3年以上であること。
- (ハ) 上記(ロ)の最低経験年数（3年）にわたって、1週間あたりの勤務時間が12時間以上であること。勤務先が複数の場合は合算して12時間以上であること。
- (ニ) 勤務の内容及び様態について、勤務先ごとに在職機関の責任ある者の証明が得られること。

IV 標準修業年限 2年

V 出願手続

1. 出願手順・方法

本学の大学院入学試験の出願方法は、「インターネット出願」とする。出願手続の手順・方法は以下のとおりである。①、②を指定された期間内に行い、③の必要書類を提出期限内に本学に郵送すること。到着した書類に不備がなく出願資格を有することが確認された時点で出願手続き完了となる。出願が受理されると、「マイページ」から受験票が印刷できるようになる(④)。

①	インターネット出願登録 (詳細は 8 ページ参照)	パソコン等で本学「入試情報サイト」から「インターネット出願サイト」にアクセスし、必要情報を入力、登録すること。
②	入学検定料の支払い (詳細は 10 ページ参照)	①の完了後、「インターネット出願サイト」の指示に従って、入学検定料を支払うこと。
③	必要書類の送付 (詳細は 12 ページ参照)	②の完了後、本学「入試情報サイト」から必要書類等を印刷し、他の必要書類とともに本学に郵送すること。
④	受験票の印刷 (詳細は 15 ページ参照)	出願資格等が確認されて出願が受理されると、「マイページ」から受験票が印刷できるようになる。志願者各自が印刷して試験時に受験票を持参すること。

2. 出願期間


専攻	インターネット 出願登録期間	入学検定料支払期限	必要書類提出期限
作曲を除く全専攻	2025年7月25日(金) 10:00 から 2025年7月31日(木) 23:59 まで	2025年7月25日(金) 10:00 から 2025年7月31日(木) 23:59 まで	2025年7月31日(木) までの消印があるもの を受け付ける。
作曲専攻	2026年1月5日(月) 10:00 から 2026年1月13日(火) 23:59 まで	2026年1月5日(月) 10:00 から 2026年1月13日(火) 23:59 まで	2026年1月13日(火) までの消印があるもの を受け付ける。

(注) 出願書類を直接大学に持参したものは、上記期限を過ぎたものは、いかなる理由があっても受け付けない。

3. 出願上の注意

- ・「インターネット出願」は、「インターネット出願サイト」からの登録だけでは出願手続完了にはならない。**入学検定料**（10 ページ参照）を支払期限までに支払い、**必要書類**（12 ページ参照）を提出期限までに**書留・速達郵便**にて本学に郵送する必要がある。書留・速達郵便はポスト投函では受付されないため、必ず郵便局の窓口で郵送すること。
- ・必要書類を日本国外から郵送する場合は、提出期限までに書留・速達郵便に準ずる方法で本学に郵送すること。
- ・出願申込時に登録された学歴等が出願資格を満たしていると確認された場合、出願が受理され、「マイページ」から受験票が印刷できるようになる。
- ・提出された必要書類に不備・不足がある場合、出願を受理できない場合がある。
- ・入学検定料支払後は、登録内容を一切変更できない。また、出願登録完了後はいかなる理由があっても書類の変更は認めない。
- ・出願にあたり不明な点がある場合は、必ず 2025 年 7 月 31 日（木）17 時（作曲専攻志願者は 2026 年 1 月 13 日（火）17 時）までに音楽学部学生募集係へ問い合わせること。

インターネット出願する前に必ず確認すること	
パソコン等の動作環境の確認	<p>インターネット出願は、以下の環境で行うこと。</p> <p>【PC 利用時推奨ブラウザ】</p> <ul style="list-style-type: none">・ Microsoft Edge 最新版・ Google Chrome 最新版・ Mozilla Firefox 最新版・ Apple Safari 最新版 <p>※ ブラウザのタブ機能を使用して、複数のタブで同時に申込操作を行うと、選択した内容が他のタブに引き継がれてしまう等の不具合が発生する場合がありますので、複数タブでの同時申込操作は控えること。</p> <p>【スマートフォン、タブレット利用時推奨ブラウザ】</p> <ul style="list-style-type: none">・ iOS 12 以降・ Android OS 8 以降・ iPadOS 13 以降 <p>※ 各 OS の標準ブラウザが推奨環境となる。</p> <p>※ 使用中のブラウザで表示が崩れることがあれば、他のブラウザにて確認すること。</p> <p>※ Android のスマートフォンからの操作で Chrome の PC 版からは PDF の表示ができない場合がありますので、モバイル版を利用すること。</p>

インターネット出願する前に必ず確認すること	
メールの設定	<p>登録されたメールアドレスにメールが以下4回送信される。</p> <p>① 初期パスワードおよび本登録用 URL の通知メール ② インターネット出願登録完了時の自動返信メール ③ 入学検定料支払い完了時の自動返信メール ④ 受験票が印刷可能になった際の通知メール</p> <p>メールは no-reply@e-apply.jp から送信される。 あらかじめ受信できるように設定しておくこと。</p>
写真の用意	<p>出願には顔写真データ（2MB まで）が必要である。</p> <p>明らかに志願者本人であることが認められる 単身、脱帽、上半身、正面向、背景なし、 出願前3か月以内に撮影した、カラー写真 データを用意すること。（右図参照）</p>  <p>・提出する写真は縦長であること（比率は縦4，横3が望ましい。）</p> <p><使用できない写真の例></p> <p>・既存の写真を再度撮影したもの、不鮮明なもの、背景が暗いもの、 顔が横向きのもの、複数名で写っているもの、画像に加工を施し ているもの等</p> <p>※提出された写真は、最終合格後学生証に使用する。</p>
書類の用意	<p>出願資格を 証明する書類</p> <p>3 必要書類の送付（12 ページ）を参照の上、出願に必要な提出書類 は、提出期限に間に合うようあらかじめ用意すること。 卒業証明書など、学歴が確認できる書類については、インターネット 出願登録を行う前に用意をすること。</p>
	<p>その他 出願に必要な 提出書類</p> <p>志願する専攻・研究分野に応じて提出書類が異なる。 提出書式は本学「入試情報サイト」よりダウンロードできるので、出 願に必要な書類を事前に確認し用意すること。</p>
封筒の用意	<p>必要書類郵送のために、市販の角型2号封筒（240mm×332mm）を 用意すること。</p> <p>「マイページ」より「封筒貼付用宛名シート」を印刷し、封筒に貼 付すること。</p> <p>※別便での郵送を指定されている必要書類については、「封筒貼付 用宛名シート」を貼付せず、宛名を手書きした封筒で郵送するこ と。</p>
用紙の用意	<p>本学「入試情報サイト」から印刷する書類等はA4サイズに印刷す る。A4サイズの普通コピー用紙（白）を用意すること。</p>

※「インターネット出願サイト」内「事前準備」も併せて確認すること。

○インターネット出願システムの操作方法・入学検定料支払方法に関する問い合わせ先

株式会社キャリアタス「学び・教育」サポートセンター

電話：0120-202-079

平日 10：00～18：00 土・日・祝日・年末年始を除く。

※出願期間中は 24 時間対応（日本語のみ）

※ E-mail：cvs-web@career-tasu.co.jp（日本語・英語対応可）

※ 入試に関する質問は不可

○入試に関する問い合わせ先

東京藝術大学音楽学部学生募集係 e-mail：music.admissions@ml.geidai.ac.jp

Tel：050-5525-2309

（平日 9：00～12：15, 13：30～17：00 土曜・日曜・祝日・本学の夏期休業期間・年末年始を除く。）

※やむを得ない場合を除き志願者本人がメールにて問い合わせをすること。

4. 障害のある入学志願者の事前相談について

受験上の特別な措置及び修学上の特別な配慮を必要とする入学志願者は事前に連絡し、作曲専攻を除くすべての専攻においては 2025 年 7 月 11 日（金）までに、作曲専攻においては 2025 年 10 月 31 日（金）までに申請書に医師の診断書を添え、音楽学部学生募集係に相談すること。その結果必要な場合には志願者との面談を行う。また、期限後に受験上の特別な措置及び修学上の特別な配慮が必要になった志願者もすみやかに音楽学部学生募集係に連絡すること。なお、申請書及び診断書は本学入試情報サイトの「受験上及び修学上の配慮申請」に掲載されている書式を用いること。

- (注) 1. 事前相談に対する回答には、相当の期間（1～2 か月）を要する場合があるため、早めに相談すること。
2. 特別な措置等は希望するすべての内容に対応できるとは限らない。

5. 出願手順・方法の詳細

1 インターネット出願登録

出願登録期間内に本学「入試情報サイト」トップページの「Web 出願」から「インターネット出願サイト」にアクセスし、「マイページ登録」をクリックして出願に必要な情報を登録する。最初に、トップページ下段の「インターネット出願利用手順」等を熟読してから登録を始めること。

手順	
	「インターネット出願サイト」(https://e-apply.jp/ds/geidai-net/) にアクセス ▼
マイページ登録	○「マイページ登録」(オレンジ色のボタン) をクリック ○入力画面に従い、個人情報等を入力する。 ▼
志願先登録	○マイページログイン後の「出願手続きを行う」をクリック ○「音楽学部・音楽研究科」・「音楽研究科(修士課程)」を選択する。 ○出願する科、専攻等を選択する。 ▼
個人情報の登録・審査書類のアップロード	マイページ登録の際に登録した氏名、現住所等の個人情報内容を確認すること。その他、必要事項を全て入力すること。 *写真のアップロード: カラーの顔写真データを用意し、アップロードすること。(6 ページ参照) *学歴については、卒業証明書などの学歴が確認できる証明書を確認しながら入力し、学校名・卒業年月等に誤りがないようにすること。 ▼
出願内容の確認	決済情報の他、入力した内容の確認画面が出る。内容をよく確認し、誤りがなければ「この内容で登録する」のボタンをクリックする。 ▼
出願登録完了	画面に「受付番号」が表示されたら登録は完了となる。登録したメールアドレスに出願登録完了メールが届くので確認し、「引き続き支払う」をクリックし、入学検定料の支払手続に進む。

※インターネット出願登録が完了すると、登録されたメールアドレスに登録完了メールが届く。登録完了メールには受付番号が表記されているので、入試終了まで大切に保管すること。

【インターネット出願登録に係わる注意事項】

- ・インターネット出願登録完了時に表示される 12 桁の「受付番号」は、受験番号ではない。
- ・登録内容に誤りがあった場合は、入学検定料を支払わずに「マイページ」の「修正」をクリックし、正しい内容を登録した上で、入学検定料支払い手続きに進むこと。入学検定料支払い後は、登録内容を修正することはできないため、出願登録期間内に再度「出願手続きを行う」をクリックし、改めて出願登録および入学検定料の支払いをすること。誤った出願登録の入学検定料については、返還請求をすることができる。入学検定料の返還請求については 11 ページを確認すること。
- ・出願登録した日から起算し、その 4 日後の 23 時 59 分までに支払手続きが行われなかった場合、出願登録したデータはキャンセルとみなされ、データが削除されるので注意すること。
※ただし出願登録完了日が支払期限締切日まで 4 日未満の場合は、支払期限締切日時が優先される。
- ・写真は出願写真として適切でないと判断された場合、再提出を求める場合がある。
- ・入力する氏名は、原則戸籍と同一文字でなければならない。その他提出書類についても同様である。
- ・氏名や住所等を入力する際に、異体字等の漢字が登録エラーになる場合は、代替の漢字（なければカナ）を入力すること。
- ・個人情報入力画面の音楽学習歴欄の入力は、大学での授業に含まれる発表会を省略してもよい。学歴・職歴・音楽学習歴・賞罰欄が不足する場合は、各自で別紙（任意形式）を作成し、3の必要書類（12 ページ参照）とともに本学に提出すること。
- ・入学手続書類送付先住所は、最終合格者への書類送付時の宛先となる。必ず志願者本人に書類が届く宛先（日本国内に限る。海外在住者は、日本国内の代理人を指定すること。）とすること。

2 入学検定料の支払い

入学検定料の支払いは、**1**のインターネット出願登録完了後に行う。出願登録完了後、以下の①、②のいずれかの方法で支払い手続きをする。

- ① 出願登録完了後「引き続き支払う」をクリックし、支払う。
- ② 「インターネット出願サイト」トップページの「ログイン」から「マイページ」にログインして「お支払い」をクリックし、支払う。

入学検定料	支払期間
36,000円	<ul style="list-style-type: none"> ・作曲専攻を除く全専攻： 2025年7月25日（金）10：00～2025年7月31日（木）23：59 ・作曲専攻： 2026年1月5日（月）10：00～2026年1月13日（火）23：59

- (注) 1. 出願時に国費外国人留学生は入学検定料の支払いは不要。
2. 支払方法によって、別途振込手数料が必要な場合がある。

支払方法	取扱機関等	その他
コンビニエンスストア	セブン-イレブン／ローソン，ミニストップ (Loppi)／ファミリーマート／デイリーヤマザキ／セイコーマート	志願者本人の名義でなくても構わない。
クレジットカード	MUFGCARD／DC／UFJ／NICOS／VISA／Master Card／JCB／AMERICAN EXPRESS	
郵便局・銀行 ATM	Pay-easy 対応 ATM	
ネットバンキング	Pay-easy 対応ネットバンキング／PayPay 銀行／楽天銀行／住信 SBI ネット銀行／au じぶん銀行	

※入学検定料の支払いが完了すると、登録されたメールアドレスに支払手続き完了メールが届く。

【入学検定料に係わる注意事項】

- ・支払手続きに関する詳細・注意点等については、「インターネット出願サイト」のトップページから「お支払い方法」を参照して確認すること。
- ・支払期限が過ぎると入学検定料を支払うことができない。
- ・支払期限までに支払いが完了しない場合、出願登録したデータは削除されるので注意すること。
- ・入学検定料の支払いが完了していないと、「マイページ」から出願に必要な書類等を印刷することはできない。
- ・クレジットカード決済で支払う場合は有効なカードを用意すること。カード名義は志願者本人でなくてもかまわない。
- ・クレジットカードでの支払いができない場合は、ほかのカードで決済するか、別の決済手段で支払うこと。
- ・「国費外国人留学生」は入学検定料の支払いは不要である。ただし、「国費外国人留学生在籍証明書」を在籍する大学から発行してもらい、**3**の必要書類（12 ページ参照）とともに本学に提出すること。
- ・誤って複数回検定料を支払ってしまった場合は、すみやかに音楽学部学生募集係に連絡すること。

【入学検定料免除制度について】

日本国内で発生した大規模な風水害等において被災した志願者に対し、進学機会の確保を図る観点から入学検定料免除の特別措置を実施する。申請時期などの詳細は本学「入試情報サイト」(<https://admissions.geidai.ac.jp/>)を確認すること。

① 提出書類

- ◇入学検定料免除申請書（本学指定様式）
- ◇罹災証明書等の写し（市区町村等が発行）

② 注意事項

- ◇インターネット出願登録は、免除の結果が決定した後に行うこと。
- ◇詳細は本学ホームページ上の「入試情報サイト」で確認すること。[\(https://admissions.geidai.ac.jp/\)](https://admissions.geidai.ac.jp/)

問い合わせ先：〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8

東京藝術大学学生課入学試験係

TEL：050-5525-2075／ FAX：03-5685-7763

E-mail：nyuusi-k@ml.geidai.ac.jp

【入学検定料の返還について】

次の場合を除き、いかなる理由があっても既納の入学検定料は返還しない。

- ・入学検定料を支払い、出願に必要な書類を提出したが出願が受理されなかった場合
- ・入学検定料を支払ったが、出願に必要な書類を提出しなかった場合（ただし、出願する学科・専攻において必要書類がない場合を除く）

該当する場合の返還請求の方法は下記の通りである。

本学所定の用紙「検定料返還請求願（学部・別科・修士・博士用）」（本学「入試情報サイト」よりダウンロード・印刷すること）に必要事項を記入・捺印し、下記送付先に郵送すること。

送付先：〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8 東京藝術大学財務会計課経理係

(注)・入学検定料支払時に発生した手数料は返還対象外である。

- ・大学から志願者への返還金額は、入学検定料の金額から返還時の振込手数料を差し引いた額である。
- ・「検定料返還請求願」受領後、返還金の振込まで通常約2～3ヶ月かかる。
- ・「検定料返還請求願」の提出期限は2026年3月31日(火)(消印有効)とする。期限までに提出がない場合、入学検定料は返還しない。

3 必要書類の送付

必要書類の送付は、入学検定料の支払完了後に行う。「マイページ」より「封筒貼付用宛名シート」を印刷し、封筒に「封筒貼付用宛名シート」を貼付すること。

自身の出願専攻・研究分野に応じた必要書類を封筒に入れて、提出期限までに書留・速達郵便で本学へ郵送すること。

必要書類を印刷する際は、すべてA4サイズの普通コピー用紙（白）を使用し、カラー印刷すること。

なお、別便での郵送を指定されている必要書類については、「封筒貼付用宛名シート」を貼付せず、宛名を手書きした封筒で郵送すること。

必要書類	要領等	提出者	備考
① 出願資格を証明する書類	出願資格を証明する書類として、次の2点を用意すること。 ・大学学部の成績証明書 ・大学卒業（または卒業見込）証明書	志願者全員 ただし本学音楽学部の卒業生・在学生は不要	
	音楽教育研究分野（社会人入試）志願者は、上記の2点に加え以下の書類を用意すること。 ・教育職員免許状授与証明書または教育職員免許状の写し ・在職期間証明書 ・その他出願資格に該当することを証明する書類	該当者のみ	様式任意
②～⑯ 受験曲目提出用紙	<p>志願する専攻・研究分野に該当する曲目提出用紙をダウンロードし、必要事項を記入して提出すること。</p> <p>②声楽専攻 ③オペラ専攻 ④ピアノ ⑤オルガン ⑥弦楽 ⑦管打楽・指揮 ⑧打楽器のセッティング図、使用楽器のリスト ⑨室内楽 ⑩古楽 ⑪尺八 ⑫能楽囃子 ⑬ソルフェージュ</p> <p>⑭音楽教育研究分野（一般入試）志願者のうち『「楽器等の実技試験」または「音楽学の筆記試験」の「ピアノ」受験者 ※音楽教育研究分野（一般入試）志願者のうち『「楽器等の実技試験」または「音楽学の筆記試験」の「ピアノ」以外を選択する受験者は、選択する専攻および研究分野と同一の曲目提出用紙を提出すること。</p> <p>⑮音楽学及び音楽教育研究分野（一般入試）志願者のうち他大学出身者で『音楽に関する基礎能力検査「ピアノ」』を受験する者。</p> <p>⑯音楽学研究分野志願者のうち他大学出身者で『音楽に関する基礎能力検査「ピアノ」』をピアノ以外の楽器で受験する者。</p>	該当者のみ	本学「入試情報サイト」の各種様式のページよりダウンロードする。 用紙を印刷の上、必要事項を記入して提出すること。

必要書類	要領等	提出者	備考
⑰ 邦楽専攻 音楽に関する基礎能力検査科目 受験曲目提出用紙	提出は、尺八、能楽、能楽囃子、邦楽囃子、日本舞踊各研究分野志願者のうち 他大学出身者 。 (邦楽囃子研究分野志願者は楽器種も記入すること。)	該当者のみ	本学「入試情報サイト」の各種様式のページよりダウンロードする。 用紙を印刷の上、必要事項を記入して提出すること。
⑱ 研究計画書(1) [音楽文芸志願者用]	提出は、音楽文芸研究分野志願者。1. 志望理由、 2. 研究計画を各々800字以内で書くこと。		
⑲ 研究計画書(2) [音楽音響創造志願者用]	提出は、音楽音響創造研究分野志願者。入学後の研究計画を2000字～3000字で具体的に記述すること。		
⑳ 志望理由書	提出は、オルガン(他大学出身者のみ)・ソルフェージュ各研究分野志願者、邦楽専攻志願者。400字以内で書くこと。		
㉑ 受験許可書	現に教職その他の公職にある者及び会社等に在職中で、服務義務のある者は、所属長の受験許可書(様式任意)を添付すること。		様式任意
㉒ 演奏作品楽譜 [管打楽研究分野フルート]	提出は、管打楽研究分野フルート志願者。上記①～㉑の必要書類とは 別便で郵送 すること。詳細は25ページを参照すること。		自由曲のみ (課題曲は提出不要)
㉓ 演奏作品楽譜 [古楽研究分野]	提出は、古楽研究分野志願者。上記①～㉑の必要書類とは 別便で郵送 すること。詳細は30ページを参照すること。		
㉔ 作品あるいは論考	提出は、音楽音響創造研究分野志願者。 上記①～㉑の必要書類とは 別便で郵送 すること。詳細は37ページを参照すること。		
㉕ 研究計画書 [音楽学志願者用]	提出は、音楽学研究分野志願者。PDFファイルを「インターネット出願サイト」にアップロードすること。 詳細は、35ページを参照すること。		様式任意
㉖ その他	㊤日本に在住している留学生は、市区町村役所で発行された「住民票(在留資格、在留期間が明記され、3カ月以内に発行されたもの)の写し」を提出すること。(本学在学学生及び本学国費外国人留学生は不要。 ㊥日本政府国費留学生は、㊤に加えて、在籍している大学が発行する「国費外国人留学生証明書(在籍身分、留学期間明記のもの)」を提出すること。 ㊦各種証明書等と現在の姓が異なる場合は、改姓の事実が確認できる証明書(戸籍抄本)を提出すること。 ㊧成績証明書について、編入学などにより4年間の大学教育を2つ以上の学校にまたがって終えた場合は、在籍した全ての学校についての成績証明書を提出すること。		様式任意

【必要書類に係わる注意事項】

- ・ 室内楽研究分野をグループで受験する場合も、必ず個々に出願すること。
- ・ 日本語以外で書かれた書類には、必ず日本語訳を添付すること。(公的機関の証明は不要。出願者が訳したもので構わない。)
- ・ 書留・速達郵便はポスト投函では受付されないため、必ず郵便局の窓口で郵送すること。
- ・ 郵送された必要書類の受領確認に関する問い合わせは受け付けない。
- ・ 推薦書等、本研究科が指定していない書類は一切提出しないこと。
- ・ 本学音楽学部の卒業生・在学生のうち、必要書類①～⑫に該当しない志願者は、書類送付は必要ない。
- ・ 証明書類はすべて原本を提出すること。
- ・ 提出された書類は基本的に返却しない。再発行不可能な証明書等の原本を本学に提出し、返却を希望する場合は、配達記録が残る手段(レターパック、簡易書留等)で返却するので、必要な料金の切手を貼った封筒等を必ず同封すること。
- ・ 発行を受けた証明書等は発行元の封筒から出して提出すること。発行元の封筒は提出不要である。
- ・ 出願登録完了後は、いかなる理由があっても書類の変更は認めない。
- ・ その他、必要に応じて証明書等の提出を本学が求める場合がある。
- ・ 登録情報確認書については、提出は不要であるので注意すること。

必要書類郵送に際して用意するもの	
封筒	市販の角2封筒(240mm×332mm)を各自で用意
封筒貼付用宛名シート	「マイページ」より印刷

必要書類郵送先：〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8 東京藝術大学音楽学部学生募集係

4 受験票の印刷

受験票は、出願受理後に「マイページ」から印刷できるようになる。受験票の印刷ができるようになると、登録されたメールアドレスに受験票印刷準備完了の通知メールが届く。志願者が各自でA4サイズの普通コピー用紙（白）にカラー印刷し、切り取り線で切り取ったものを試験当日に持参すること。

専攻	受験票の印刷可能開始日時
作曲を除く全専攻	2025年8月28日（木） 16：00以降
作曲専攻	2026年1月21日（水） 16：00以降

【受験票に係わる注意事項】

- ・受験票印刷後、記載内容について必ず確認すること。

出願申込時に登録した内容と受験票の記載内容が異なる場合、受験票の印刷期間になっても受験票が印刷できるようにならない場合は、以下期限までに音楽学部学生募集係へ連絡すること。

専攻	受験票の印刷に関する問い合わせ期限
作曲を除く全専攻	2025年8月29日（金） 17：00まで
作曲専攻	2026年1月22日（木） 17：00まで

（登録内容は「インターネット出願サイト」の、「マイページ」にログイン後、「申込内容を確認する」で照会できる。）

- ・試験当日は印刷した受験票が必要である。出願登録した際の受付番号、スマートフォン等の受験票の画像では受験できない。
- ・インターネット出願登録した際の受付番号と受験番号は異なる。
- ・出願登録完了後にメールアドレスを変更すると、受験票印刷準備完了の通知メールが届かないので注意すること。

連絡先：東京藝術大学音楽学部学生募集係 Tel：050-5525-2309

Mail：music.admissions@ml.geidai.ac.jp
（月～金 9：00～12：15, 13：30～17：00）

休業期間：土曜・日曜・祝日および2025年8月9日（土）～2025年8月17日（日）、
2025年12月27日（土）～2026年1月4日（日）

VI 選抜試験場

東京藝術大学音楽学部 東京都台東区上野公園 12-8

- J R 線—上野駅公園口，鶯谷駅下車，徒歩約 10 分
- 東京メトロ—千代田線根津駅下車，徒歩約 10 分
銀座線・日比谷線 上野駅下車徒歩 15 分
- 京成電鉄—京成上野駅下車徒歩 15 分

試験場（東京藝術大学音楽学部）案内図



- 〔交通機関〕
- (J R) 山手線・京浜東北線 上野駅（公園口）・鶯谷駅下車 徒歩約10分
 - (東京メトロ) 銀座線・日比谷線 上野駅下車徒歩約15分
千代田線 根津駅下車 徒歩約15分
 - (京成電鉄) 京成上野駅下車徒歩15分

Ⅶ 試験科目

(「Ⅷ 試験科目の詳細」参照のこと)

専攻	研究分野	試験科目				
		専門試験	語学	基礎学科目 (音楽史)	面接 (注2)	音楽に関する 基礎能力検査 (他大学出身者のみ) (注4)
			○は要受験・△は一部 要受験・×は受験不要			
作曲	作曲	作品審査及び口述試問	英・独・仏・伊語から1科目	○ (注3)	×	×
	エクリチュール	作品審査, 実技, 口述試問				
声楽	声楽	1. 声楽実技 2. 新曲視唱 (指定された志願者のみ)	英・独・仏・伊語から1科目	○	×	×
オペラ	オペラ	1. 声楽実技 2. 新曲視唱 (指定された志願者のみ)	英・独・仏・伊語から1科目	○	×	×
器楽	ピアノ	専攻楽器の実技	英・独・仏・伊語から1科目	○	×	×
	オルガン	専攻楽器の実技	英・独・仏・伊語から1科目	○	△	×
	弦楽	専攻楽器の実技	英・独・仏・伊語から1科目	○	×	×
	管打楽	専攻楽器の実技	英・独・仏・伊語から1科目	○	△	×
	室内楽	1. 室内楽の実技 2. 専攻楽器の実技 (個人受験者のみ)	英・独・仏・伊語から1科目	○	×	×
	古楽	1. 専攻楽器の実技 2. アンサンブル・通奏低音	英・独・仏・伊語から1科目	○	○	×
指揮	指揮	1. 指揮実技 2. 指揮適性検査 3. ピアノ実技	英・独・仏・伊語から1科目	○	△	×
邦楽	全研究分野	1. 専攻楽器等の実技 2. 口述試問	国語古文	○	△	○
音楽文化学	音楽学	1. 音楽学 2. 口述試問	英・独・仏・伊から1科目	○ (注3)	×	△
	音楽教育 (一般入試)	1. 小論文 2. 口述試問 3. 「楽器等の実技試験」または「音楽学の筆記試験」(注1) (作曲, 声楽, 器楽, 邦楽の各専攻, または音楽文化学専攻音楽学研究分野のいずれか一つを選択し受験する。)	左記「専門試験」3.において「楽器等の実技試験」(邦楽以外)を選択した者は, 英・独・仏・伊語から1科目, 「楽器等の実技試験」(邦楽)を選択した者は, 国語古文を受験する。「音楽学の筆記試験」を選択した者は, 英・独・仏・伊から1科目を受験する。	○ (注3)	×	○
	音楽教育 (社会人入試)	1. 研究計画 2. 口述試問 3. 専攻論文	英・独・仏・伊語から1科目	○ (注3)	×	×
	ソルフェージュ	1. ソルフェージュ実技 2. 記述試験 3. 口述試問 4. ピアノ実技	英・独・仏・伊語から1科目	○ (注3)	×	×
	音楽文芸	1. 専攻論文 2. 口述試問	英・独・仏・伊・国語古文から1科目	○ (注3)	×	×
	音楽音響創造	1. 聴覚試験 2. 記述試験 3. 口述試問	英・独・仏・伊・国語古文から1科目	○ (注3)	×	×

(注1) 音楽教育研究分野 (一般入試) 志願者に課されている「『楽器等の実技試験』または『音楽学の筆記試験』」を, エクリチュール研究分野, オペラ専攻, 室内楽研究分野を選択し受験することはできない。また, 声楽専攻により受験する者は, 声楽専攻第1回試験のみ受験すること。
(なお, 2025年9月18日(木)にこれら受験者の合否発表はない。)

(注2) 【面接について】「○」は志願者全員に課する。「△」は「他大学出身者」及び「本学出身者のうち学部専攻と受験する修士課程の専攻が異なる者」にのみ課する。「×」は課さない。

(注3) 作曲専攻及び音楽文化学専攻志願者に課する基礎学科目 (音楽史) の出題形態は, 他の研究分野志願者と異なるので, 詳しくは39ページを参照すること。

(注4) 詳しくは40ページを参照すること。

(注5) 合否判定における順位付けは次頁の表に定める方法で行う。

※過去2年分の入試問題は, 音楽学部学生募集係で閲覧できる。

※課せられた試験科目を1つでも受験しなかった者は, 失格 (不合格) となる。

(注5 関係) 合否判定における順位付けについて

専攻		研究分野	合否判定	評価基準及び合否判定における順位付け
作曲	作曲			作品審査・口述試問 [採点者数×2点] の高得点順
	エクリチュール			専攻実技・作品審査・口述試問 [採点者数×2点] の高得点順
声楽		声楽		第1次合否判定：第1回専攻実技試験 [100点] の高得点順 最終合否判定：第2回専攻実技試験 [100点] の高得点順
オペラ		オペラ		第1次合否判定：第1回専攻実技試験 [100点] の高得点順 最終合否判定：第2回専攻実技試験 [100点] の高得点順
器楽		ピアノ		専攻実技試験 [100点] の高得点順
		オルガン		専攻実技試験 [100点] の高得点順
		弦楽		専攻実技試験 [100点] の高得点順
		管打楽		専攻実技試験 [100点] の高得点順
		室内楽		専攻実技試験 [100点] の高得点順
		古楽		専攻実技試験 [100点] の高得点順
指揮		指揮		専攻実技試験 [100点] の高得点順
邦楽		全研究分野		専攻実技試験 [100点] の高得点順
音楽文化学		音楽学		専攻論文(口述試問を含む。)[100点], 音楽学[100点], 音楽史[100点]の合計点[300点]の高得点順
		音楽教育(一般入試)		小論文(口述試問を含む。)[100点]の高得点順
		音楽教育(社会人入試)		研究計画(口述試問を含む。)[100点], 専攻論文[100点]の合計点[200点]の高得点順
		ソルフェージュ		ソルフェージュ実技試験[採点者数×2点]の高得点順
		音楽文芸		専攻論文[100点], 口述試問[200点], 音楽史[100点], 語学[100点]の合計点[500点]の高得点順
		音楽音響創造		聴覚試験・記述試験[250点], 口述試問[500点], 音楽史[100点], 語学[150点]の合計点[1000点]の高得点順

※入学者の選抜は、「専門試験・語学・基礎学科目(音楽史)・面接・音楽に関する基礎能力検査の各成績及び出願時提出資料」に基づき総合して判定する。

Ⅷ 試験科目の詳細

(1) 専門試験

専攻	研究分野	課 題 曲 等
作曲	◎ 作曲専攻共通注意事項（作曲，エクリチュール） 下記に定める作品等を2026年1月23日（金）正午までに直接又は書留・速達郵便により音楽学部学生募集係に提出すること。ただし，音楽教育研究分野志願者で，作曲（エクリチュールは選択不可。35ページの音楽教育一般入試3.「楽器等の実技試験」または「音楽学の筆記試験」を参照。）により受験する者の提出期限は，2025年8月22日（金）正午までとする。郵送による場合も上記期限までに音楽学部学生募集係に届くように発送すること。なお，2025年8月9日（土）から2025年8月17日（日）まで本学が夏季休業期間のため，直接音楽学部学生募集係に提出することができないので注意すること。	
	作 曲	二管編成以上の管弦楽作品およびアンサンブル作品(演奏者2名以上10名以内で，声楽を含む場合も可) から，それぞれ1曲ずつの楽譜を提出する。
	エクリチュール	1. 任意のジャンルによる作品1曲の楽譜を提出する。 2. 与えられた主題で4声フーガを作曲する。(6時間) 3. 和声(アルテルネ)課題の実施。(5時間) 4. ピアノによる数字付きバス，および旋律の和声付け試験。 5. 総譜の初見視奏。4および5の予見時間は合計で20分とする。 6. モーツァルト，ベートーヴェン，シューベルト，メンデルスゾーン，シューマン，ブラームスの交響曲から指定された楽章の，総譜によるピアノ演奏。 課題の作品，楽章は2025年12月5日（金）14時に入試情報サイトで発表する。

●作曲専攻の試験日程について

本研究科（修士課程）入学試験において，作曲専攻の試験については，全ての試験を2026年2月に行う。

詳細な日程は募集要項にて確認すること。

※作曲専攻 Web 出願受付期間は2026年1月5日（月）から2026年1月13日（火）まで。

●口述試問について

作曲研究分野及びエクリチュール研究分野において口述試問を課す。

大学院音楽研究科(修士課程)作曲専攻の学位審査科目の「修士論文」に関する，テーマと研究方法について口述試問を行う。「修士論文」作成のため，外国語文献読解のために必要な語学力が求められる。

専攻	研究分野	課 題 曲 等
声	ソ プ ラ ノ (S)	<p>●歌唱実技試験（第1回試験，第2回試験）</p> <p>提出曲</p> <p>受験曲目提出用紙の書式に従って原語で記入すること。</p> <p>第1回試験：以下のA，B，Cの各分野より1つの分野を選択し，その分野より任意の1曲を提出する。</p> <p>第2回試験：第1回試験と同一分野より任意の1曲（ただし，第1回試験の演奏曲として提出する曲目とは異なる曲目），残る2つの分野より任意の曲を2曲ずつ提出する。</p> <p>A分野：モーツァルト以降の作曲家（モーツァルトを含む）によるオペラ作品の独唱曲（コンサート・アリアを含む）。</p> <p>B分野：オラトリオ，ミサ曲，カンタータ等の宗教的独唱曲。</p> <p>バロック・オペラ，世俗カンタータ，マドリガーレ等の世俗的独唱曲。</p> <p>C分野：歌曲</p> <p>※ オペラ，オラトリオ等のアリアは原調・原語。歌曲については原語とするが，移調は自由。慣習的に認められている移調・言語はこの限りではない。</p>
	メゾソプラノ (Ms)	
	ア ル ト (A)	
	カウンターテノール (Ct)	
	テ ノ ー ル (T)	
楽	バ リ ト ン (Br)	<p>歌唱実技試験</p> <p>第1回試験：第1回試験の演奏曲として提出した1曲（4分以内）を暗譜で演奏する。</p> <p>第2回試験：第2回試験の演奏曲として提出した1曲と，試験当日，本学が記号（イ，ロ，ハ，ニ）で指定する2曲の計3曲を9分以内（曲間を含む）にまとめて暗譜で演奏する（各曲，適宜カットしてよい）。演奏曲順は自由。</p> <p>※ 第1回試験及び第2回試験ともに，演奏はピアノ伴奏とする。志願者が伴奏者を同伴すること。譜めくりをする者を同伴しても良い。</p>
	バ ス (B)	<p>●新曲視唱（音大及び音楽関係学部・学科等の出身者には課さない。）</p> <p>第2回試験終了後，引き続き行う。開始時刻等については，第1回試験合格発表時の日程等発表を確認すること。</p> <p>※ 上記出身者に該当するかどうか判断できない志願者は，事前に本学音楽学部学生募集係に問い合わせること。</p>

専攻	研究分野	課 題 曲 等
オペラ	ソプラノ (S)	<p>●歌唱実技試験（第1回試験，第2回試験）</p> <p>提出曲 受験曲目提出用紙の書式に従って原語で記入すること。 第1回試験：以下A分野より任意の1曲を提出する。 第2回試験：以下A分野より任意の1曲（ただし，第1回試験の演奏曲として提出する曲目とは異なる曲目），B分野より任意の2曲，C分野より任意の2曲を提出する。</p> <p>A分野：モーツァルト以降の作曲家（モーツァルトを含む）によるオペラ作品の独唱曲（コンサート・アリアを含む）。 B分野：オラトリオ，ミサ曲，カンタータ等の宗教的独唱曲。 バロック・オペラ，世俗カンタータ，マドリガーレ等の世俗的独唱曲。 C分野：歌曲 ※ オペラ，オラトリオ等のアリアは原調・原語。歌曲については原語とするが，移調は自由。慣習的に認められている移調・言語はこの限りではない。</p> <p>歌唱実技試験 第1回試験：第1回試験の演奏曲として提出したA分野の1曲（4分以内）を暗譜で演奏する。 第2回試験：第2回試験の演奏曲として提出したA分野の1曲と，試験当日，本学が記号（イ，ロ，ハ，ニ）で指定する2曲の計3曲を9分以内（曲間を含む）にまとめて暗譜で演奏する（各曲，適宜カットしてよい）。演奏曲順は自由。</p> <p>※ 第1回試験及び第2回試験ともに，演奏はピアノ伴奏とする。志願者が伴奏者を同伴すること。譜めくりをする者を同伴しても良い。</p>
	メゾソプラノ (Ms)	
	アルト (A)	
	カウンターテノール (Ct)	
	テノール (T)	
	バリトン (Br)	
バス (B)	<p>●新曲視唱（音大及び音楽関係学部・学科等の出身者には課さない。） 第2回試験終了後，引き続き行う。開始時刻等については，第1回試験合格発表時の日程等発表を確認すること。 ※ 上記出身者に該当するかどうか判断できない志願者は，事前に本学音楽学部学生募集係に問い合わせること。</p>	

専攻	研究分野	課 題 曲 等
器	ピ ア ノ (Pf)	<p>以下の a) 及び b) の区分より、ピアノ独奏用作品を組み合わせた30分以上のプログラムを2種類提出すること。それぞれのプログラムは必ず a) b) 両方の作品を含むこと。 当日各自の抽選によりいずれか一方のプログラムを演奏する。</p> <p>a) バロックから古典派までの作品。但し、8分以上とする。 b) ロマン派以降の作品（出版されているものに限る。但し、内部奏法等を含んだ作品は除く。）</p> <p>注) 1) 演奏は暗譜とする。 2) 繰り返しは自由とする。 3) a) b) 共、複数曲でも可。 4) ソナタ・変奏曲の抜粋は認めない。 5) 時間の都合により一部を省略させることがある。</p>
	楽	オルガン (Org)

専攻	研究分野	課題曲等		
器	オルガン (Org)	専攻実技試験で使用する奏楽堂オルガンの仕様		
		<u>Hauptwerk (I)</u> Principal 16' Prästant 8' Rohrflöte 8' Octav 4' Spitzpfeife 4' Quint 3' Superoctav 2' Mixtur 6-10f. Scharf 5f. Cornet 5 f. Trompete 16 Trompete 8' Trompete 4' Vox humana 8' Tremulant Hw	<u>Schwellwerk (III)</u> Nachthorn 16' Principal 8' Hohlflöte 8' Unda maris 8' Viola da Gamba 8' Octav 4' Violetta 4' Rohrgedackt 4' Nasat 2 2/3' Flageolet 2' Sesquialter 2 f. Mixtur major 5f. Mixtur minor 4f. Fagott 16' Trompete 8' Trompete 4 Oboe 8' Tremulant Sw	<u>Mitteltönigwerk (I)</u> Coppel 8' Spitzflöte 4' Principal 2' Quintflöte 1 1/3' Regal 16' Trichterregal 8' Schalmey 4' Baß 8'(Pedal) Tremulant Mw
楽		<u>Kleinwerk (II)</u> Gedackt 8' Salizional 8' Quintatön 8' Prästant 4' Rohrflöte 4' Nasat 3' Terz 1 3/5' Superoctav 2' Siffelöte 1 1/3' Mixtur 5 f. Fagott 16' Dulcian 8' Schalmey 4' Tremulant Kw	<u>Brustwerk (III)</u> Portunal 8' Bordun 8' Prästant 4' Blockflöte 4' Traverso 4' Waldpfeife 2' Terzian 2 f. Quintlein 1 1/2' Scharf 4f. Krummhorn 8' Regal 4' Tremulant Bw	<u>Pedalwerk</u> Bordun 32' Prästant 16' Subbaß 16' Octavbaß 8' Gedackt 8' Principal 4' Nachthorn 4' Mixtur 6 f. Posaunenbaß 32' Posaunenbaß 16' Trompete 8' Trompete 4' Cornet 2' Tremulant Pw

専攻	研究分野	課 題 曲 等
器 弦 楽 楽		<p>◎ 弦楽研究分野共通注意事項 (ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバス・ハープ) ○演奏はすべて暗譜とし、繰り返しは省略する。 ○志願者は、試験当日伴奏者を同伴すること。譜めくりをする者を同伴しても良い。 ○当日、時間の都合により一部省略させることがある。</p>
	ヴァイオリン (Vn)	<p>1. 次の中から任意の1曲(全楽章) J. S. Bach : Partita for Violin solo No.1 B minor BWV1002 No.2 D minor BWV1004 No.3 E major BWV1006</p> <p>2. 次の中から任意の1曲の第1楽章 (1) L. v. Beethoven : Concerto D major Op.61 (カデンツァは自由) (2) J. Brahms : Concerto D major Op.77 (カデンツァは自由) (3) F. Mendelssohn : Concerto E minor Op.64</p>
	ヴィオラ (Va)	<p>1. J. S. Bach : Solo Suites の中から No.1 (BWV1007), No.2 (BWV1008), No.3 (BWV1009), No.4 (BWV1010) より1曲を選び、Prélude, Allemande, Courante を演奏すること。 2. Palaschko : 20 Studies Op.36より No.20 (Hunting) 3. 次の中から任意の1曲 (1) B. Bartók : Concerto (第1楽章) (最後のカデンツァを含む) (シエルイ版, 改訂版どちらでも可) (2) W. Walton : Concerto (第1楽章, 第2楽章)</p>
	チェロ (Vc)	<p>1. J. S. Bach : Solo Suites の中から No.4, No.5, No.6より1曲を選び、Prélude, Allemande, Courante を演奏すること。 2. 次の中から任意の1曲 (1) J. Haydn : Concerto D major Op.101 (全楽章, カデンツァを含む) (2) A. Dvořák : Concerto B minor (全楽章) (3) R. Schumann : Concerto A minor (全楽章) (4) E. Elgar : Concerto E minor Op.85 (全楽章) (5) D. Shostakovich : Concerto No.1 Op.107 (全楽章)</p>
	コントラバス (Cb)	<p>1. Hans Fryba : A Suite in the Olden Style より Prélude Allemande Gigue</p> <p>2. 次の中から任意の1曲(全楽章) (1) K. D. Dittersdorf : Concerto E major (2) J. B. Vanhal : Concerto D major (3) G. Bottesini : Concerto No.1 F sharp minor (4) G. Bottesini : Concerto No.2 B minor</p>
	ハープ (Hp)	<p>1. 次の中から任意の1曲 (1) C. P. E. Bach : Sonata F major 又は G major (全楽章, 何版でも可。繰り返しは無しとする。) (2) G. F. Händel : Concerto (全楽章, 何版でも可。繰り返しは無しとする。伴奏なし。)</p> <p>2. 次の中から任意の1曲 (1) Fauré : Impromptu (2) Tailleferre : Sonata (全楽章)</p>

専攻	研究分野	課 題 曲 等	
器	管	<p>◎ 管打楽研究分野共通注意事項</p> <p>○志願者は、試験当日伴奏者を同伴すること。</p> <p>○志願者は譜めくりをする者を同伴しても良いが、志願者同士の譜めくりは禁止する。</p> <p>○出版社の指定のないものは、何版でもよい。</p> <p>○演奏箇所は当日指定される箇所を演奏すること。</p> <p>○特に指定のないものは、全楽章とする。</p>	
		フルート (Fl)	<p>1. 課題曲 以下の a), b) より任意の1曲を選択し演奏すること。(カデンツァを含む)</p> <p>a) W. A. Mozart : Konzert G-Dur K. 313</p> <p>b) W. A. Mozart : Konzert D-Dur K. 314</p> <p>2. 自由曲 任意の無伴奏現代曲を1曲演奏すること。</p> <p>※ 自由曲で演奏する作品の楽譜をコピーし、A4判で一冊にまとめたものを1部作成し、出願と共に本学音楽学部・学生募集係宛に提出すること。その際、「管打楽フルート受験用楽譜在中」と表書きした任意の封筒にて書留速達により郵送すること。</p>
		オーボエ (Ob)	<p>1. 課題曲 以下2曲を演奏すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Mozart : Concerto in C major for Oboe and Orchestra KV 314 (Bärenreiter 版) 全楽章暗譜 ・ G.P. Telemann : Twelve Fantasias for transverse flute without bass より No.1, No.7, No.9 全曲暗譜 <p>2. オーケストラ・スタディ</p> <p>a) Rossini : Die Seidene Leiter</p> <p>b) Brahms : Violinkonzert D-Dur</p> <p>(『V. Miller, W. Liebermann (編) : Orchesterprobespiel: Oboe / Englischhorn / Oboe d'amore (Peters)』を使用すること)</p> <p>演奏箇所は当日指定する。</p>
		クラリネット (Cl)	<p>1. 課題曲 以下の両方を演奏すること。ただし Mozart は暗譜とする。</p> <p>W. A. Mozart : Konzert A-Dur K. 622</p> <p>H. Hepp, A. Rohde (編) : Orchesterprobespiel : Klarinette / Hohe Klarinette / Bassklarinette (Peters) より</p> <p>L. v. Beethoven : Sinfonie Nr. 6 第1, 2 楽章</p> <p>2. 自由曲 (任意による1曲)</p> <p>演奏順は任意とする。</p>
		サクソフォーン (Sx)	<p>1. 課題曲 J. Ibert : Concertino da Camera</p> <p>2. 自由曲 (任意による1曲)</p>
楽	打	木	
		管	
		ファゴット (Fg)	<p>1. 課題曲 W. A. Mozart : Konzert B-Dur K. 191 (186e) (カデンツァなし)</p> <p>2. 自由曲 (任意による1曲)</p>

専攻	研究分野	課 題 曲 等
器 管 打 楽 楽	◎ 管打楽研究分野共通注意事項 ○志願者は、試験当日伴奏者を同伴すること。 ○志願者は譜めくりをする者を同伴しても良いが、志願者同士の譜めくりは禁止する。 ○出版社の指定のないものは、何版でもよい。 ○演奏箇所は当日指定される箇所を演奏すること。 ○特に指定のないものは、全楽章とする。	
	ホルン (Hr)	1. 次の中から任意の1曲を選択し、演奏すること。 a) W. A. Mozart : Konzert Nr. 2 Es-Dur K. 417 より第1楽章 b) W. A. Mozart : Konzert Nr. 3 Es-Dur K. 447 より第1楽章 (カデンツァを含む) c) W. A. Mozart : Konzert Nr. 4 Es-Dur K. 495 より第1楽章 (カデンツァなし) 2. 自由曲 任意の無伴奏現代曲1曲演奏すること。
	トランペット (Tp)	1. 課題曲 H. Tomasi : Concerto 2. 自由選択曲 a) ~ c) より任意の1曲を選択し、演奏すること。 a) J. W. Hertel : Concerto No. 1 in E♭ Major 第1, 2楽章 b) G. Ph. Telemann : Concerto in D 第1曲 (Adagio) と第4曲 (Allegro) c) L. Mozart : Concerto in D
	トロンボーン (Tb)	テナートロンボーン (TTb) 1. 課題曲 F. Martin : Ballade (Universal Edition) G. Ch. Wagenseil : Concerto * (Universal Edition) *アルトトロンボーンで演奏すること。 2. 自由曲なし
		バストロンボーン (BTb) 1. 課題曲 T. Albinoni : Sonate en Ré majeur adaptée pour Trombone basse et piano (Gérard Billaudot) 2. 自由曲 (任意による1曲)
	ユーフォニアム (Euph)	1. 課題曲 J. Horowitz : Euphonium Concerto (Novello) 2. 自由選択曲 後藤文夫 : 無伴奏ユーフォニアムのための24のカプリス より 同一調号の長調短調の任意の2曲 (風の音)
	チューバ (Tu)	1. 課題曲 R. Vaughn Williams : Concerto for Bass Tuba and Orchestra (Oxford University Press) 2. 自由曲 (任意による1曲)
打 楽 器 (Pc)	1. 課題曲 F. Dupin : Myriades (Alphonse Leduc) 2. 自由曲 (任意による1曲) ※出願時に、打楽器のセッティング図、使用楽器のリストを提出すること。 ※自由曲の使用楽器について、こちらから問い合わせをする場合がある。 ※自由曲の変更をお願いする場合がある。	

専攻	研究分野	課 題 曲 等
器 室		<p>◎ 室内楽研究分野共通注意事項 (弦楽四重奏・ピアノ三重奏・二重奏・木管五重奏) ○個人で受験する場合、志願者は当日、共演者を同伴すること。譜めくりをする者を同伴しても良い。 ○ピアノを個人で受験する場合、共演する楽器はヴァイオリン限定とする。 ○課題曲は、特別の指定がないものは、全楽章とする。繰り返しは省略する。 ○当日、時間の都合により一部省略させることがある。</p>
	弦楽四重奏	<p>グループ受験の課題曲は以下の3曲とする。 1. 次の弦楽四重奏曲の中から任意の1曲 Haydn 全曲, Mozart 全曲, Beethoven : Op.18の1 - 6 2. 次の弦楽四重奏曲の中から任意の1曲 Beethoven : Op.59の1,2,3, Op.74, Op.95 3. 次の作曲家の弦楽四重奏曲の中から任意の1曲 Ravel, Janáček, Prokofiev, Bartók, Shostakovich (個人での受験は認めない)</p>
	三重奏 ピアノとヴァイ オリンとチェロ	<p>グループ受験の課題曲は以下の3曲とする。 1. 次のピアノ三重奏曲の中から任意の1曲 Haydn 全曲, Mozart 全曲, Beethoven 全曲 2. 次のピアノ三重奏曲の中から任意の1曲 Fauré, Ravel, Shostakovich (第1番, 第2番) 3. 上記の1, 2以外のピアノ三重奏作品から1曲 (個人での受験は認めない)</p>
楽 室	二重奏 ピアノとヴァイ オリン, ヴィオ ラ, チェロ	<p>I グループで受験する場合 課題曲は、次のA・B・C群の中から各々1曲ずつ選び計3曲を演奏する。</p> <p>① ヴァイオリンとピアノの二重奏 A群 Beethoven:Sonaten für Klavier und Violine (全10曲) より一曲 選択 (全楽章) B群 以下のソナタより一曲選択 (全楽章) Schubert:Fantasie für Violine und Klavier Op.159,D 934 Brahms:Sonate für Klavier und Violine G-dur Op.78 Brahms: Sonate für Klavier und Violine A-dur Op.100 Brahms: Sonate für Klavier und Violine d-moll Op.108 Strauss: Sonate für Klavier und Violine Es-dur Op.18 Schumann: Sonate für Klavier und Violine a-moll Op .105 Franck: Sonate pour violon et piano Fauré:Sonate pour violon et piano No.1 Op.13 C群 A, B群の作曲家と時代の異なる作曲家のヴァイオリンとピアノの二重奏作品</p> <p>② ヴィオラとピアノの二重奏 A群 Hummel : Sonate für Viola und Klavier Es-dur Op.5- 3 Schubert : Sonate für Klavier und Arpeggione a-moll D821 Ausgabe für Viola Schumann : Märchenbilder Op.113 B群 Bowen : Sonata for Viola and Piano No.1 Op.18 R. Clarke : Sonata for Viola and Piano Hindemith : Sonate für Viola und Klavier Op.11- 4 Hindemith : Sonate für Viola und Klavier,1939 Shostakovich : Sonata for Viola and Piano Op.147 C群 A, B群の作曲家以外のヴィオラとピアノのための二重奏作品</p> <p>(次ページに続く)</p>

専攻	研究分野	課 題 曲 等
器 室	内	<p>③ チェロとピアノの二重奏</p> <p>A群 Beethoven : Sonaten für Klavier und Violoncello (全5曲)</p> <p>B群 Shostakovich : Sonata for Violoncello and Piano in d Op.40 Prokofiev : Sonata for Violoncello and Piano Op.119 Fauré : Sonate pour violoncelle et piano No.1 Op.109 Sonate pour violoncelle et piano No.2 Op.117 Britten : Sonata for Violoncello and Piano Op.65 Poulenc : Sonate pour violoncelle et piano</p> <p>C群 A, B群の作曲家以外のチェロとピアノのための二重奏作品</p>
		<p>II 個人で受験する場合 各楽器とも以下の1. 2. 3. を演奏する。 1. の課題は暗譜とする。</p> <p>① ピアノ</p> <p>1. Chopin:Etudes Op.10,Op.25より3曲選択する。内訳は、以下の3つの群より1曲ずつとする。3曲を準備して、当日抽選によりその中から2曲を演奏する。 a群 Op.10- 2, 10- 7, 25- 4, 25- 6, 25- 8, 25-10, 25-11 b群 Op.10- 1, 10- 4, 10- 5, 10- 8, 10-12, 25-12 c群 Op.10-10, 10-11, 25- 3, 25- 5, 25- 9</p> <p>2. 前記のグループ受験課題曲 <u>ヴァイオリンとピアノの二重奏 A群</u>の中から任意の1曲。</p> <p>3. <u>ヴァイオリンとピアノの二重奏 B群</u>から任意の1曲。</p> <p>② ヴァイオリン</p> <p>1. 次の中から任意の1曲 (全楽章) J. S. Bach : Partita for Violin solo No.1 B minor BWV1002 No.2 D minor BWV1004 No.3 E major BWV1006</p> <p>2. 前記のグループ受験課題曲 A群の中から任意の1曲</p> <p>3. B群から任意の1曲</p> <p>③ ヴィオラ</p> <p>1. J. S. Bach : Solo Suites の中から No.1 (BWV1007), No.2 (BWV1008), No.3 (BWV1009), No.4 (BWV1010) より1曲を選び、Prélude, Allemande, Courante を演奏すること。</p> <p>2. 前記のグループ受験課題曲 A群の中から任意の1曲</p> <p>3. B群から任意の1曲</p> <p>④ チェロ</p> <p>1. J. S. Bach : Solo Suites の中から任意のプレリュード 1曲</p> <p>2. 前記のグループ受験課題曲 A群の中から任意の1曲</p> <p>3. B群から任意の1曲</p>
楽	楽	

専攻	研究分野		課 題 曲 等
器 楽	室	二重奏 ピアノとフルート	グループ受験の課題曲は以下の3曲とする。 1. Schubert : Introdution und Variationen über ihr Blümlein alle Op.160 D.802 2. Prokofiev : Sonata for Flute and Piano in D Op.94 3. Isang Yun : “Garak” for Flute and Piano (個人での受験は認めない)
	内 楽	木管五重奏	グループ受験の課題曲は以下のとおりとする。 1. György Ligeti : Sechs Bagatellen für Bläserquintett (Schott 版) 2. A・B群より各々1曲ずつ演奏すること。 A群 Franz Danzi : Bläserquintett B-dur Op.56 Nr.1 Anton Reicha : Bläserquintett Es-dur Op.88 Nr.2 B群 Paul Hindemith : Kleine Kammermusik Op.24 Nr.2 Jean Françaix : Quintette (個人での受験は認めない)

専攻	研究分野	課 題 曲 等
器 古		<p>《注意事項》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 試験当日、演奏する楽章や繰り返しについて指示する。また演奏時間の関係で中断させることがあるが、採点には影響しない。 2) 鍵盤楽器以外の志願者は、チェンバロによる通奏低音奏者を同伴すること。また、バロック音楽志願者が必要なオブリガート楽器や、バロックヴァイオリン分野のコンチェルトのオーケストラパートは、チェンバロで代用すること。 3) チェンバロ分野、バロックオルガン分野、バロックチェロ分野の試験に必要なアンサンブル上声部奏者は、本学で用意する。 4) すべて課題曲の演奏順は自由とする。当日は、曲目提出用紙に記入した順に演奏すること。 5) 選択型の課題曲の場合、過去の年度に受験したことがある者はその時と重ならないように選択することを推奨する。 6) 演奏する作品の楽譜すべてをコピーし、A4判で一冊にまとめたものを4部作成し、出願と共に本学音楽学部・学生募集係宛に提出すること。その際、「古楽受験用楽譜在中」と表書きした任意の封筒にて書留速達により郵送すること。 7) ソロ及び伴奏に使用できるチェンバロは、以下の2台である。 <ol style="list-style-type: none"> ① a'=415のフレンチタイプ（音域 FF-f^{'''}, 8'8"4' ヤング第2調律） ② a'=415のイタリアンタイプ（音域 C/E-c^{'''}, ※F#, G#, d#/eb, g#/ab, a#/bb, d#/e'b, g'/a'b, a#/b'bb, d'/e'bbの分割鍵盤あり, 8'8" ミートーン調律） ※なお、伴奏のために a'=440のフレンチタイプ（音域 FF-f^{'''}, 8'8"4' ヤング第2調律）の使用を希望する場合には、曲目提出用紙の該当箇所にその旨記すこと。 8) フォルテピアノ専攻試験に使用する楽器は、a'=430の18世紀末ウィーン式モデル（音域 FF-g^{'''}）である。 9) チェンバロ分野、フォルテピアノ分野の志願者には、実技試験の行われる楽器で試奏する時間を事前に1回与える。 10) バロックオルガン分野の志願者については、下記の点に留意すること。 <ol style="list-style-type: none"> ※ レジスターのためのアシスタントが必要な者は、出願書類中の曲目提出用紙の該当箇所にその旨記すこと。アシスタントは本学が用意する。 ※ 実技試験（ソロ）の行われるオルガンで、レジスタータイム（リハーサル）を2回与える。 ※ 実技試験（ソロ）の行われるオルガンのディスプレイーションについては、オルガン研究分野の項（23ページ）を参照のこと。
	楽 楽	<p>バロック音楽 (BVo)</p>
<p>バロックヴァイオリン (BVn)</p>		<ol style="list-style-type: none"> 1. 次の3つのカテゴリーそれぞれから作品を選び、25分程度のプログラムを構成し演奏する。楽章の選択、繰り返しは自由とする。 <ol style="list-style-type: none"> ① 無伴奏曲 例) J. S. Bach : Sei Solo à violino BWV1001-1006, G. P. Telemann : 12 Fantasien, J. P. Westhoff : 6 Suiten, J.H. Roman : Assaggi, etc. ② フランスの「通奏低音付きソロ作品（ソナタ、コンセール、組曲等）」 例) J-M.Leclair, F.Couperin, J-F.Rebel, F.Francoeur の作品 ③ イタリアまたはドイツの「通奏低音付きソナタ」または「コンチェルト」 例) A. Corelli, A. Vivaldi, C. A. Lonati, G. F. Handel, F. Geminiani, J.S. Bach, F. Benda の作品 2. 当日与えられる数字付き低音の課題をチェンバロで演奏する。（予見時間5分）

専攻	研究分野	課 題 曲 等
器 楽	古	バ ヲ ッ ク チ ェ ロ (BVC)
	古	リ コ ー ダ ー (Rec)
	楽	チ ェ ン バ ロ (Cemb)
		<p>1. 次の①②を演奏する。</p> <p>① Geminiani : Sonate op.5より第6番 (全楽章, 繰り返しは自由)</p> <p>② J. S. Bach : Suite a violoncello solo senza basso No.1~4 (BWV 1007-1010) から任意の組曲を選び, プレリユード以外の楽章を演奏する (繰り返し省略)。 [楽器・弓とも原則としてバロック仕様のもの, ガット弦を使用すること。A線・D線はプレーンガット以外の使用は認めない。 基準ピッチは $a' = 415$ とする。①に関してはチェンバロ奏者とともに演奏すること。]</p> <p>2. アンサンブル課題： J.M.Leclair : 通奏低音つき Violin sonata op.5より第7番イ短調の第1楽章および第2楽章を, 本学の用意したソロ奏者と, 志願者が同伴したチェンバロ奏者とともに演奏する。当日に10分程度のリハーサル時間が与えられる。</p> <p>3. 当日与えられる数字付き低音の課題をチェンバロで演奏する。(予見時間5分)</p>
		<p>1. 次の①~④を演奏する。</p> <p>① A. Virgiliano : "IL DOLCIMELO" より任意のリチュエルカータ1曲 [ルネサンスまたは初期バロックタイプのリコーダーを使用。管の種類及びピッチ, 移調は自由。]</p> <p>② J. -M. Hotteterre : 作品2 (1715年の第2版) 又は作品5 (1715年) より任意の組曲1曲 (全楽章)。 [ヴォイス・フルート使用の場合は原調, F管アルト・リコーダー使用の場合は適した調性に移調すること。ピッチは $a' = 415$]</p> <p>③ J. S. Bach : Partita イ短調 BWV 1013 より Allemande, Corrente [ヴォイス・フルート使用の場合は原調, F管アルト・リコーダー使用の場合はハ短調に移調して演奏, ピッチは指定しない]</p> <p>④ A.Vivaldi : 協奏曲 RV441, 443, 444, 445 から1曲 (全楽章)。 [RV441はF管アルト, RV443, 444, 445 はF管ソプラニーノを使用。ピッチは $a' = 415$]</p> <p>2. 当日与えられる数字付き低音の課題をチェンバロで演奏する。(予見時間5分)</p>
		<p>1. 次の①~⑤を演奏する</p> <p>① 次のイ) ~ハ) から任意の1曲 イ) J. P. Sweelinck : Fantasia Chromatica (d1, SwWV 258) ロ) W. Byrd : Fantasia in a (Musica Britannica XXVII- No.13) ハ) G.Frescobaldi : Capriccio sopra la Bassa Fiamenga</p> <p>② J. H. d'Anglebert または L. Couperin の任意の Prélude non mesuré を1曲。</p> <p>③ 次の J. J. Froberger の組曲イ), ロ) のどちらかを選択 イ) 組曲ハ長調 (FbWV 612, Lamento で始まるもの) ロ) 組曲ニ長調 (FbWV 620, Meditation で始まるもの) ※各楽章, 前半は繰り返しを行い, 後半は繰り返しなしで演奏する。</p> <p>④ J. S. Bach : Toccata fis-Moll (BWV 910)</p> <p>⑤ 次のイ) ~ニ) から任意の1曲 イ) J. P. Rameau : La Poule ロ) J. P. Rameau : La Dauphine ハ) A. & J. B. Forqueray : Jupiter ニ) P. Royer : La Marche des Scythes</p> <p>2. 当日与えられる通奏低音と旋律楽器 (または声楽) のためのアンサンブル作品を演奏する。(予見打ち合わせ時間10分)</p>

専攻	研究分野	課 題 曲 等
器	古	<p>1. 次の①～⑤を演奏する。</p> <p>① G.Frescobaldi : Parte sopra la Monicha (“Partite et Toccate”, Libro Primo) ※Mitteltönigwerk を使用すること</p> <p>② 次のイ)～ハ) から任意の1曲。 イ) J. P. Sweelinck : Hexachord Fantasia (F1, SwWV 263) ロ) J. P. Sweelinck : Fantasia Chromatica (d1, SwWV 258) ハ) J. P. Sweelinck : Echo Fantasia in d (d3, SwWV 260)</p> <p>③ 北ドイツ楽派の大規模な Toccata, Praeludium, Praeambulum の中から任意の1曲。</p> <p>④ N.de Grigny : “Livre d’orgue” の中から, Fugue à 5 を含む連続した4つの楽章 (ほかの作品にまたがってもよい)。</p> <p>⑤ J. S. Bach : 6つの Trio-sonate BWV 525~530 の中から任意の1曲 (全楽章)</p> <p>2. 当日与えられる通奏低音と旋律楽器 (または声楽) のためのアンサンブル作品をポジティブオルガンにて演奏する。(予見打ち合わせ時間10分)</p>
	楽	<p>1. 次の①～③を演奏する (繰り返しは自由, 計35分以内のプログラムにまとめる)。</p> <p>① C.Ph.E.Bach : “Clavier-Sonaten und freye Fantasien nebst einigen Rondos für Kenner und Liebhaber” より, 任意のファンタジアまたはロンドを1曲。</p> <p>② W.A.Mozart : クラヴィーアのための変奏曲より, 任意の1曲。</p> <p>③ L.v.Beethoven : 作品31までのピアノソナタより, 任意の1曲 (全楽章)。</p> <p>2. チェンバロにて次の作品を演奏する。 F. Couperin : 『クラヴサン奏法 L’Art de toucher le clavecin』 の8つのプレリュードから任意のプレリュードを1曲。</p> <p>3. 当日与えられる数字付き低音の課題をチェンバロまたはフォルテピアノで演奏する。(予見時間5分)</p>

専攻	研究分野	課 題 曲 等
指 揮	指 揮	<p>1. 指揮実技</p> <p>(1) 総譜初見指揮</p> <p>(2) 課題曲…以下の課題より, 当日指定された部分を指揮する。 J.Sibelius : Symphony No.2 in D, Opus 43 から第1楽章</p> <p>2. 指揮適性検査</p> <p>(1) スコアリーディング</p> <p>(2) 聴音</p> <p>(3) ピアノ以外の器楽実技 (自由曲・伴奏なし)</p> <p>(4) 音楽一般に関する試問</p> <p>3. ピアノ実技</p> <p>課題曲…全曲の中から, 当日指定された部分を演奏する。 L.v.Beethoven : Sonata for Piano in E-flat Major (No.18), Opus 31 No.3</p>

専攻	研究分野	課 題 曲 等	
邦	<p>◎ 邦楽専攻共通注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 志願者に対し、試験の際、邦楽全般又はその専門に関する簡単な口述試問を行う。 ○ 志願者は、志願する部門に応じて以下の課題曲を暗譜で演奏すること。ただし、長唄・常磐津・清元の志願者は、歌詞のみ唄本を用いてもよい。 		
	三味線音楽	長唄三味線	「賤機帯」(四世 杵屋三郎助 (十世 杵屋六左衛門) 作曲)
		常磐津三味線	「積恋雪関扉 (下)」(宝田寿来 作詞・二世 岸澤式佐 作曲)
		清元三味線	「傀儡師」(初世 清元齋兵衛 作曲)
		長唄	「賤機帯」(四世 杵屋三郎助 (十世 杵屋六左衛門) 作曲)
		常磐津	「積恋雪関扉 (下)」(宝田寿来 作詞・二世 岸澤式佐 作曲)
		清元	「傀儡師」(初世 清元齋兵衛 作曲)
	(注) 長唄三味線・常磐津三味線・清元三味線の志願者は、各自使用する楽器を持参する。		
	箏曲	山田流	<p>箏 「寿くらべ」(二世 山木太賀 作曲)</p> <p>三絃 「竹生島」(千代田検校 作曲)</p> <p>(注) 1. 上記課題曲を弾き歌いで演奏する。 (演奏箇所については、適宜指示する)</p> <p>2. 箏・三絃は原則として各自持参の楽器を使用する。ただし、本学で用意した箏(テトロン糸)・三絃の使用も可能。 なお、出願の際に、持参・借用の別を記入すること。</p> <p>3. 調弦は、試験室に入室後、改めて取り直し、審査対象の内とする。又、調子替など印付けは一切不可とする。 (公平性を保つ為、試験開始前に、教員又は助手が箏柱を動かす、印を消す等、楽器に触れる場合がある。)</p>
		生田流	<p>箏 「今小町」(菊岡検校 作曲)</p> <p>「数え唄変奏曲」(宮城道雄 作曲)</p> <p>三絃 「夜々の星」(光崎検校 作曲)</p> <p>(注) 箏は本学で用意した楽器(テトロン糸)を使用する。 三絃は各自持参の楽器を使用する。</p>
尺八	<p>琴古流による志願者…… 1. 「真虚霊」(初世黒澤琴古編曲)</p> <p>2. 「霧海簾鈴慕」(同上)</p> <p>3. 「虚空鈴慕」(同上)</p> <p>都山流による志願者…… 1. 「岩清水」(流祖中尾都山作曲)</p> <p>2. 「寒月」(同上)</p> <p>3. 「懐月調」(同上)</p> <p>○上記各3曲の中から2曲を選び、演奏する。</p> <p>○五孔尺八の一尺八寸管(竹製)を用いること。</p> <p>○琴古流による志願者は三浦琴童譜に準じた楽譜、都山流による志願者は都山流尺八楽会公刊譜によること。</p> <p>共通曲…………… 1. 「須磨の嵐」(山登万和 作曲)</p> <p>2. 「御山獅子」(菊岡検校 作曲)</p> <p>○上記2曲の中から1曲を選び、合奏にて演奏する。</p> <p>○五孔尺八の一尺八寸管(竹製)を用いること。</p> <p>○琴古流による志願者は竹友社発行譜、都山流による志願者は都山流尺八楽会公刊譜によること。</p> <p>○共通曲の伴奏者(箏・三絃)については本学にて用意する。</p> <p>※ 出願の際は、所定の用紙(受験曲目提出用紙)に必要事項を記入の上、提出すること。</p>		

専攻	研究分野	課 題 曲 等
邦 <u>楽</u>	能 楽	観世流または宝生流による受験者……謡曲独吟「山姥クセ」及び仕舞「松風」 ワキ方宝生流による受験者……謡曲独吟「花筐クルイ」及び仕舞「春栄」 和泉流による受験者……小謡独吟「名取川」及び小舞「海老救川」
	能 楽 囃 子	(イ) 笛……………「楽」 (ロ) 小鼓……………「楽」 (ハ) 大鼓……………「楽」 (ニ) 太鼓……………「楽」 ※ 出願の際は、所定の用紙（受験曲目提出用紙）に必要事項を記入の上提出のこと。
	邦 楽 囃 子	1. 「船弁慶」（二世杵屋勝三郎作曲）（太鼓・大鼓・小鼓）より任意の楽器を選択。 2. 「英執着獅子」（初世杵屋弥三郎作曲）（笛） 注1） 1， 2の伴奏者（長唄・三味線）は本学係員が担当する。 2） 楽器は各自持参すること。
	日 本 舞 踊	1. 男踊り 清元「北州」 2. 女踊り 長唄「京鹿子娘道成寺」 本学の用意したテープで、両曲とも試験官の指定した箇所を踊る。 注1） 録音テープは、清元はビクター版の「清元志寿太夫全集」、長唄はコロムビア版「日本舞踊吾妻流試験課題曲」より芳村伊十郎による音源を使用する。指定された音源の入手が困難な場合は、本学音楽学部学生募集係に連絡すること。 2） 両曲ともに小道具は用いず、扇子及び手拭いをもって代用すること。

専攻	研究分野	課 題 曲 等
音 楽 文 化 学	音 楽 学	<p>研究計画書 大学院修士課程における各自の研究について、①修士課程での研究テーマと、そのテーマを選んだ理由、②そのテーマに関連してこれまでに自分が参照した研究等（それに対する自分の評価も含めて書くこと）、および③修士課程における具体的な研究計画（横書き、計1600字程度、手書き不可）を日本語で作成し、PDFファイルに変換して「インターネット出願サイト」に出願時にアップロードすること。なお、研究計画書には氏名を記載しないこと。</p> <p>1. 音 楽 学 試験時間：2時間 音楽美学、音楽理論、西洋音楽史、日本・東洋音楽史、音楽民族学の5部門から2部門を選んで受験する。</p> <p>2. 口述試問</p>
	音 楽 教 育	<p>1. 小論文 試験時間：2時間</p> <p>2. 口述試問</p> <p>3. 「楽器等の実技試験」または「音楽学の筆記試験」 作曲、声楽、器楽、邦楽の各専攻、または音楽文化学専攻音楽学研究分野のいずれか一つを選択し受験する。ただし、作曲専攻エクリチュール、オペラ専攻、器楽専攻室内楽研究分野、指揮専攻は本試験において選択できない。 作曲研究分野により受験する者は、任意の作品を1曲以上提出する（提出期限については、19ページを参照のこと）。併せて、提出作品についての口述試問を課す。 また、器楽専攻ピアノ研究分野により受験する者は次の課題曲を演奏すること。演奏箇所は試験当日指定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>●ピアノ課題曲</p> <p>1) Haydn, Mozart, Beethoven のピアノソナタより任意の曲1曲（全楽章）及び</p> <p>2) Chopin の練習曲 Op.10及び Op.25より任意の曲3曲 （注）1）繰り返しは省く。 2）演奏は暗譜とする。 3）演奏の一部を省略することがある。 4）本学所定の受験曲目提出用紙を提出すること。</p> </div> <p>上記以外を選択し受験する者は、当該専攻および研究分野の試験と同一の内容とする。 ただし、声楽専攻により受験する者は、声楽専攻第1回試験のみ受験すること。</p>
	社会人入試	<p>1. 研究計画 試験時間：2時間</p> <p>2. 口述試問</p> <p>3. 専攻論文 音楽科教育に関する指定されたテーマについて、1,600字以内で論述する。試験時間：2時間</p>

専攻	研究分野	課 題 曲 等
音 楽 文 化 学	ソルフェージュ	<p>1. ソルフェージュ実技試験</p> <p>1) ピアノによる聴音書き取り (単旋律, 複旋律, 四声体和声)</p> <p>2) 各種音部記号 (ト音記号, ヘ音記号, ハ音記号) による初見唱</p> <p>3) ピアノ初見奏</p> <p>4) 和声課題 (バスおよびソプラノ課題による四声体和声)</p> <p>2. 記述試験 ソルフェージュ専攻分野に関わるテーマを課した小論文 文字数: 1600字以内 試験時間: 2時間</p> <p>3. 口述試問</p> <p>4. ピアノ実技試験 次の課題曲を演奏すること。演奏箇所は試験当日指定する。</p> <p>1) Haydn, Mozart, Beethoven のピアノソナタより任意の曲 1 曲 (全楽章)</p> <p>2) Chopin の練習曲 Op.10及び Op.25より任意の曲 3 曲 (注) 1) 繰り返しは省く。 2) 演奏は暗譜とする。 3) 演奏の一部分を省略することがある。 4) 本学所定の受験曲目提出用紙を提出すること。</p>
	音 楽 文 芸	<p>1. 専攻論文 試験時間: 2時間</p> <p>2. 口述試問</p> <p>口述試問では, 出願時に提出された研究計画書を参考資料として, 主に研究計画についての試問を行う。したがって研究計画書には, (1) 音楽文芸を志望した理由, これまでの研究・活動歴, 現段階で興味を持っているテーマについて, (2) 修士課程在籍中の2年間における研究計画, 修士論文について現時点で想定し得るテーマ・素材を各々800字以内で具体的に書いておくこと。</p>

専攻	研究分野	課 題 曲 等
音 楽 文 化 学	音楽音響創造	<p>1. 聴試験 出題された音源に関して以下の観点で回答する設問 (1) 音楽的特質 (2) 音響的特徴 (3) 批評</p> <p>2. 記述試験 楽典、音楽史、音響学等の知識を問う設問</p> <p>※試験時間は、「聴試験」、「記述試験」合わせて3時間とする。</p> <p>3. 口述試問 研究計画書、作品あるいは論考に即し、20分程度の試問を行う。</p> <p>※ 出願時に (A)「研究計画書」及び (B)「作品あるいは論考」を提出すること。なお、「研究計画書」は、他の必要書類と同封の上提出すること。また「作品あるいは論考」は、他の必要書類とは別の封筒を使用し、速達書留郵便により提出すること。送り先は「東京藝術大学音楽学部学生募集係」とし、封筒表に「音楽音響創造入試『作品（または論考）』在中」と大きく明記すること。提出は、出願期間内に行うものとし、同期間内の消印のあるものを受理する。</p> <p>(A)「研究計画書」について 本学所定の様式を使用し、入学後の研究計画を2000～3000字で具体的に記述すること。Word等で作成した文書を所定様式の点線枠内に貼付すること。</p> <p>(B)「作品あるいは論考」について 以下 (1), (2), (3) のいずれかを提出すること。 (返却しない)</p> <p>(1) 音楽作品の創作技法を評価の対象として希望する場合 自作品2～3点(*)とそれぞれの解説。自作品として提出できるのは、録音物、楽譜、あるいはその両方とする。解説は、1作品につきA4用紙4枚以内、公開された作品の場合は、公開の年月日、場所、演奏者や機材のシステムなどのデータを記入すること。</p> <p>(2) 録音技術を評価の対象として希望する場合 既存の曲(オリジナル作品も可)を自ら録音した作品(5～10分程度)1～2点(*)と、それについての解説。(1作品につきA4用紙4枚以内、録音、ミキシングに関する詳しいデータを記入すること)。</p> <p>(3) 音楽や音響の研究を評価の対象として希望する場合 音楽・音響に関する日本語による論考(形式は自由)</p> <p>(*) 音のみの作品の場合はCD-R, DVD-R, Blu-rayで、映像をとまなう場合はDVD-R, Blu-rayで提出する。また、再生にあたって特別な注意を要するときには、それについても解説に記入すること。作品(メディア)と楽譜または解説は、各作品ごとに氏名と題名を書いた封筒に入れること。</p>

(2) 語学

専攻	研究分野等	試験内容	
作曲 声乐 オペラ 楽器 指揮	全研究分野	英・独・仏・伊語の中から1科目選択……大学学部卒業程度 ※辞書使用可（電子機器の物は除く。） 試験時間：1時間30分	
邦楽	全研究分野	国語古文1科目……大学学部卒業程度 ※辞書使用不可 試験時間：1時間30分	
音楽 文化 学	音楽学	英・独・仏・伊語の中から1科目選択……大学学部卒業程度 ※辞書使用不可 試験時間：1時間30分	
	音楽教育	一般入試	●「楽器等の実技試験（邦楽専攻を除く。）」の選択者 英・独・仏・伊語の中から1科目選択……大学学部卒業程度 ※辞書使用可（電子機器の物は除く。） 試験時間：1時間30分 ●「楽器等の実技試験（邦楽専攻）」の選択者 国語古文1科目……大学学部卒業程度 ※辞書使用不可 試験時間：1時間30分 ●「音楽学の筆記試験」の選択者 英・独・仏・伊語の中から1科目選択……大学学部卒業程度 ※辞書使用不可 試験時間：1時間30分
		社会人入試	英・独・仏・伊語の中から1科目選択……大学学部卒業程度 ※辞書使用可（電子機器の物は除く。） 試験時間：1時間30分
		ソルフェージュ	英・独・仏・伊語の中から1科目選択……大学学部卒業程度 ※辞書使用可（電子機器の物は除く。） 試験時間：1時間30分
	音楽文芸	英・独・仏・伊・国語古文の中から1科目選択……大学学部卒業程度 ※辞書使用不可 試験時間：1時間30分	
	音楽音響創造	英・独・仏・伊・国語古文の中から1科目選択……大学学部卒業程度 ※辞書使用可（電子機器の物は除く。） 試験時間：1時間30分	

(3) 基礎学科目 (音楽史)

専攻・研究分野	試験内容
全研究分野 (作曲専攻を除く)	<p>音楽史について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 声楽を中心とする音楽史 (西洋音楽史) 2. 鍵盤楽器を中心とする音楽史 (西洋音楽史) 3. 弦楽・管打楽器を中心とする音楽史 (西洋音楽史) 4. 日本を含む東洋音楽史 <p>出願時, 上記4系列から1系列を選択する。各系列においてそれぞれ3問題ずつ出題するので, 志願者は, その中から任意に2問題を選択し解答する。</p> <p>ただし, 音楽文化学専攻志願者は, 出願時, 上記4系列から1系列を選択する必要はなく, 出題される全12問題の中から系列を問わず任意に2問題を選択し解答する。</p> <p>出題程度は, 専門の音楽大学における各科またはコース別音楽史概説の程度を超えないものとする。試験時間: 2時間</p>
作曲専攻	<p>音楽史 (西洋音楽史, 日本を含む東洋音楽史) に関して計6問題を出題するので, 志願者は, その中から任意に2問題を選択し解答する。</p> <p>出願時に系列を選択する必要はない。</p> <p>出題程度は, 専門の音楽大学における各科またはコース別音楽史概説の程度を超えないものとする。試験時間: 2時間</p>

(4) 面接

専攻・研究分野	試験内容
古楽	志願者全員
オルガン・管打楽・ 指揮・邦楽専攻	<ol style="list-style-type: none"> (1) 他大学出身者 (2) 本学出身者のうち, 学部の専攻と受験する修士課程の研究分野・楽器が異なる者
作曲専攻・声楽専 攻・ オペラ専攻・ ピアノ・弦楽・室内楽・ 音楽学・音楽教育・ ソルフェージュ・ 音楽文芸・音楽音響 創造	面接を行わない。

(5) 音楽に関する基礎能力検査

①「基礎能力検査」受験対象者及び試験内容

他大学出身者（本学出身者を除く）のうち以下に指定する研究分野等の志願者には、以下の通り「基礎能力検査」を課する。

受験対象者		基礎能力検査科目及び試験内容
研究分野	楽器名等	
作曲 声乐 オペラ ピアノ オルガン 弦楽 管打楽 室内楽 古楽 指揮		実施しない。
三 味 線 音 楽	長唄三味線	「長唄」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） 課題曲：「時雨西行」（二世杵屋勝三郎作曲）
	常磐津三味線	「常磐津」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） 課題曲：「将門」（宝田寿助作詞，五世岸沢式佐作曲）
	清元三味線	「清元」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） 課題曲：「北州」（大田蜀山人作詞，川口直作曲）
	長唄	「長唄三味線」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） 課題曲：「時雨西行」（二世杵屋勝三郎作曲）
	常磐津	「常磐津三味線」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） 課題曲：「将門」（宝田寿助作詞，五世岸沢式佐作曲）
	清元	「清元三味線」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） 課題曲：「北州」（大田蜀山人作詞，川口直作曲）
箏 曲	山田流	「口述試問」（志望理由及び山田流箏曲の専門知識についての審査）
	生田流	「箏曲音楽理論」 （楽器〈箏・十七絃・三絃〉及びそれらの取扱い，調絃，楽譜，演奏法，唱歌，歌唱法など生田流箏曲全般にわたる専門知識についての口述試問。）
尺	八	「箏」または「三絃」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） （自由曲とする。） *演奏する曲目名等を本学所定の受験曲目提出用紙に記入し，出願時に提出しなければならない。
能	楽	「能楽囃子」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） （四拍子より1楽器を演奏する。自由曲とする。） *演奏する曲目名等を本学所定の受験曲目提出用紙に記入し，出願時に提出しなければならない。

(次ページに続く)

受験対象者		基礎能力検査科目及び試験内容
研究分野	楽器名等	
能楽	囃子	専攻以外の四拍子より1楽器・謡曲を演奏する。(専攻実技試験に引き続き行う。) (自由曲とする。) *演奏する曲目名等を本学所定の受験曲目提出用紙に記入し、出願時に提出しなければならない。
邦楽	囃子	専攻以外の四拍子より1楽器を演奏する。(専攻実技試験に引き続き行う。) (自由曲とする。) *演奏する曲目名等を本学所定の受験曲目提出用紙に記入し、出願時に提出しなければならない。
日本舞踊		次の中から1つを選択し受験すること。 1. 長唄三味線：「五郎時致」(十代目杵屋六左衛門作曲) 2. 常磐津三味線：「松島」(河竹黙阿弥作詞，六代目岸沢式佐作曲) 3. 清元三味線：「四君子」(鎌田徳之助作詞，二世清元梅吉作曲) 4. 長唄：「五郎時致」(十代目杵屋六左衛門作曲) 5. 常磐津：「松島」(河竹黙阿弥作詞，六代目岸沢式佐作曲) 6. 清元：「四君子」(鎌田徳之助作詞，二世清元梅吉作曲) 7. 邦楽囃子(四拍子より1楽器を選択)：「五郎時致」(十代目杵屋六左衛門作曲) *演奏する曲目名等を本学所定の受験曲目提出用紙に記入し、出願時に提出しなければならない。
音楽学	音楽美学 西洋音楽史	ピアノ，聴音，初見唱，楽典。ただし出願時の申し出により，ピアノに代えて，オルガン，弦楽器，管楽器，打楽器(小太鼓独奏またはマリンバ独奏)で受験することもできる。弦楽器及び管楽器で受験する場合に使用できる楽器は，器楽専攻弦楽研究分野及び管打楽研究分野の志願者が出願できる楽器に限る。無伴奏とする。
	音楽民族学 日本・東洋音楽史	実施しない。
音楽教育	一般入試 「楽器等の実技試験または音楽学の筆記試験」において「邦楽専攻」を選択しなかった者	ピアノ(ピアノ研究分野志願者には課さない)，聴音，初見唱，楽典
	「楽器等の実技試験または音楽学の筆記試験」において「邦楽専攻」を選択した者	本表，三味線音楽，箏曲，尺八，能楽，能楽囃子，邦楽囃子および日本舞踊各研究分野の項記載の通り実施する。
	社会人入試	実施しない。
ソルフェージュ		実施しない。
音楽文芸		実施しない。
音楽音響創造		実施しない。

② 基礎能力検査科目「ピアノ・聴音・初見唱・楽典」の試験内容

基礎能力検査科目	試験内容
ピ ア ノ	<p>ハイドン，またはモーツァルトのソナタより1曲を選択し，任意の楽章を演奏する。</p> <p>(注) 1) 繰り返しは除く。 2) 楽譜を見ても良い。 3) 当日，時間の都合により一部を省略させることがある。 4) 本学所定の受験曲目提出用紙を提出すること。</p> <p>音楽学研究分野志願者でピアノに代えてオルガン，弦楽器，管楽器，打楽器（小太鼓独奏またはマリмба独奏）で受験する者は，自由曲とする。出願時に本学所定の受験曲目提出用紙を提出すること。無伴奏とする。</p>
聴 音	次ページ例題の程度（単旋律は記憶聴音）
初 見 唱	次ページ例題の程度
楽 典	試験時間 1 時間

例題

● 聴音書き取り

1) 単旋律（記憶聴音）

2) 複旋律

3) 四声体和声

● 初見唱

Moderato (♩ = 84)

Ⅸ 選 抜 期 日

1. 第1期選抜試験（対象：作曲専攻を除くすべての受験者）

2025年9月16日（火）～9月26日（金）

2. 第2期選抜試験（対象：作曲専攻受験者）

2026年2月6日（金）～2月10日（火）

（注） 各専攻の選抜試験期日は「XVIII 入学者選抜試験日程表」（51 ページ）に記載されている。

★インフルエンザ等罹患患者への対応について

（学校保健法で出席の停止が求められている感染症に関する注意事項）

入学試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻疹、水疱瘡、新型コロナウイルス等）に罹患し治癒していない場合は、他の受験生や監督者等への感染の恐れがありますので、原則として受験をご遠慮願います。

ただし、病状により医師が伝染の恐れがないと判断した場合は、この限りではありません。なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いません。試験当日の体調には十分に注意してください。

X 最終合格者の発表

1. 第1期選抜試験（対象：作曲専攻を除く全ての受験者）

…2025年9月30日（火）午後2時以降本学「入試情報サイト」で発表する。

2. 第2期選抜試験（対象：作曲専攻）

…2026年2月13日（金）午後2時以降本学「入試情報サイト」で発表する。

合格者の受験番号は本学「入試情報サイト」にて掲載する。**※音楽学部内の掲示は行わない。**
発表前後はアクセスが集中し、つながりにくい場合がある。その際は、時間をおいて再度アクセスすること。

（注）1. 電話・電子メール等による合否等の問い合わせには、一切応じない。

2. 最終合格者には、2026年2月19日（木）（予定）に入学手続き書類を発送するので、出願時に「インターネット出願サイト」にて入学手続き書類送付先を登録すること。
※宛名は日本国内に限るため、海外在住者は日本国内の代理人を指定すること。
※最終合格したにもかかわらず入学手続き書類が2026年2月25日（水）までに到着しない場合には、音楽学部学生募集係に連絡すること。

3. 入学の条件

- ① 指定期日に所定の入学手続きを完了すること。
- ② 2026年3月までに大学等を卒業見込で受験し最終合格した者は、大学等を卒業していること。
- ③ 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構に学士の学位を申請している者は、学位が授与されていること。

X I 入学手続き等について

1. 手続き期間

郵送受付：2026年3月6日（金）必着

2. 郵送先

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 東京藝術大学音楽学部教務係

3. 入学料等の支払

入学料 338,400円（予定額）（国費外国人留学生は支払不要）

入学手続き終了者が2026年3月31日（火）までに入学辞退を申し出た場合でも、入学料は返還しない。

* 参考までに、入学者には上記入学料以外に次のような経費が必要となる。（任意）

- ・ 学生教育研究災害傷害保険料 1,750円
- ・ 学研災付帯賠償責任保険料 680円
- ・ 同声会会費（同窓会費） 60,000円（他大学出身者及び本学出身の未納者）
- ・ 音楽教育振興会費 40,000円

（音楽教育振興会：音楽学部の教育研究，学生の課外活動などを支援するための学生の父母により組織される会）

- ・ キャンパス環境整備支援会費……50,000円

（キャンパス環境整備支援会：本学のキャンパス環境の充実を図るため，本学の施設整備等に対し助成を行う会です。本趣旨にご賛同の上，ご協力（ご入会）をお願いします（会費入学時のみ支払／卒業まで有効））。

※授業料について

授業料（前期分） 321,480円（後期分） 321,480円（年額642,960円）〔予定額〕
（国費外国人留学生は支払不要）

（注）1. 授業料支払方法は口座振替（自動引落）による。前期分授業料の口座振替は2026年5月下旬，後期分授業料の口座振替は2026年11月下旬の予定である。

2. 在学中に授業料改定が行われた場合，改定時から新授業料が適用される。

4. 留意事項

★在留資格の取得手続きについて

①査証（ビザ）申請について

- ・日本への入国用査証申請は、入学手続きとは別に入学希望者が本人の責任で行ってください。
- ・受験目的で「短期滞在」査証を利用しての入国は認められますが、入学が決定した場合は、入学までに必ず「留学」査証を取得してください。

②「短期滞在」査証を利用して入国した場合の査証変更手順

- ・「短期滞在」で入国後に、日本国内で査証種別を変更することはできません。
- ・一度帰国のうえ在留資格認定証明書（COE）の申請を行い、交付されたら母国の日本大使館・領事館で「留学」査証を取得してください。

③COE 代理申請について

- ・COE の代理申請を東京藝術大学が行うことを希望する合格者は、入学手続き時に所定の書類を提出してください。

④責任範囲

- ・在留資格の審査は法務省が行い、査証（ビザ）の発給可否は申請者の母国にある日本大使館・領事館が判断します。不許可となった場合、大学は一切責任を負いません。

⑤注意事項

- ・COE は重複申請できません（他大学で申請中、または既に有効な COE をお持ちの場合など）。重複申請があると証明書は発行されません。すでに申請中の機関には取消しを依頼してください。
- ・COE の交付には1～3 か月かかります。

XII 入学料・授業料の免除・徴収猶予について

東京藝術大学には、入学料・授業料の免除・徴収猶予制度がある。希望する者は、入学料・授業料の支払前に、下記の申請要件を確認のうえ、所要の手続きを行うこと。

なお、入学料・授業料支払後の各種申請はできないので注意すること。また、入学料免除については申請要件を満たしても免除されるとは限らないこと、及び授業料免除についても申請しても不許可となる場合があることから、入学料・授業料支払の準備は事前に十分に行っておくこと。

免除・猶予の申請要件は次のとおり。

(1) 入学料免除

- ① 経済的理由により入学料の納付が困難で、かつ学業優秀と認められる場合
- ② 入学前1年以内に、申請者の主たる家計支持者の死亡または申請者本人もしくは申請者の主たる家計支持者が風水害等の災害を受けたことにより、入学料の納付が困難であると認められる場合
- ③ ①に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

(2) 入学料徴収猶予

- ① 経済的理由により納付期限までに入学料の納付が困難で、かつ学業優秀と認められる場合
- ② 入学前1年以内に、申請者の主たる家計支持者の死亡または申請者本人もしくは申請者の主たる家計支持者が風水害等の災害を受けたことにより、納付期限までに入学料の納付が困難であると認められる場合
- ③ その他やむを得ない事情があると認められる場合

(3) 授業料免除

- ① 経済的理由により授業料の納付が困難で、かつ学業優秀と認められる場合
- ② 授業料の納期前1年以内に、申請者の主たる家計支持者の死亡または申請者本人もしくは申請者の主たる家計支持者が風水害等の災害を受けたことにより、授業料の納付が困難であると認められる場合

(4) 授業料徴収猶予

- ① 経済的理由により納付期限までに授業料の納付が困難で、かつ学業優秀と認められる場合
- ② 授業料の納期前1年以内に、申請者の主たる家計支持者の死亡または申請者本人もしくは申請者の主たる家計支持者が風水害等の災害を受けたことにより、納付期限までに授業料の納付が困難であると認められる場合
- ③ その他やむを得ない事情があると認められる場合

制度の詳細については本学ホームページを確認すること。

入学料免除・徴収猶予 https://www.geidai.ac.jp/life/entrance_fee/waiver_deferral_admission

授業料免除・徴収猶予 https://www.geidai.ac.jp/life/entrance_fee/waiver_deferral_tuition

XIII 修学支援奨学金（給付型）について

経済的理由により授業料の納付が困難であるが、「学業優秀と認められる場合」に該当せず上記の授業料免除の対象とならない者で所定の要件を満たす場合は、半期5万円（年額10万円・返済義務なし）を給付する奨学制度がある。

希望する者は上記の授業料免除手続きと同時に所定の手続きを行う必要がある。

XIV 奨学金，特待生について

本学では、入学試験，在学中の実技試験等において特に優れた成績を納めた者に対し，各種の奨学金，特待生制度を設けてこれを表彰し，才能に溢れた意欲ある学生を積極的に支援している。これらは返済不要の給付型奨学金である。制度の詳細については本学ホームページで確認すること。

1. 入学試験成績により採用されるもの

宗次徳二特待奨学生 むねつぐとくじ [対象：声楽・オペラ/初年度給付額：100万円/給付期間：最長2年間]

2. 在学時の学業成績等により採用されるもの

小川尚子賞海外派遣奨学金 [対象：声楽・オペラ/給付額 50万円]

クロイツァー賞 [対象：ピアノ/給付額 10万円]

藝大クラヴィーア大賞 [対象：ピアノ/給付額 20万円]

藝大クラヴィーア賞 [対象：ピアノ/給付額 10万円]

武藤舞奨学金 [対象：声楽・音楽音響創造/給付額 30万円]

藝大音楽エメラルド賞 [対象：声楽・オペラ・ピアノ・オルガン・弦楽・管打楽・室内楽・古楽/給付額 45万円] 他

3. その他の支援制度

上記以外にも、野村学芸財団，よんでん文化振興財団などの民間奨学財団，地方公共団体へ大学から推薦した学生が，毎年，奨学生として採用されている。

XV 「特に優れた業績による返還免除」修士課程内定制度について

大学院修士課程等に進学後，日本学生支援機構の第一種奨学金（無利子貸与型）を希望する者を対象として，通常貸与終了時に決定する「特に優れた業績による返還免除」を，機構が定める推薦枠数の範囲で，予め内定する制度。進学前年（12月下旬ごろ）に進学予定の大学院にて申請手続きを行う。

希望する者は本学 HP より申請要領を確認の上，所定の手続きを行うこと。

https://www.geidai.ac.jp/life/scholarship/jasso_scholarship#044

XVI 研究室及び指導教員（五十音順）

2025年7月現在

作	曲	野松	口原	千代光	<日本舞踊>
折金	笠敏之	向山	原勝也	露木雅彌	
斉木	仁由美	山崎	山佳絵子	音 楽 学	
鈴木	木純明也	吉田	貴子秀	植村幸生	
	達也			大角欣矢	
		管 打 楽		土田牧	
声乐・オペラ		岡本正之	岡本慎治	西間木真※	
甲斐栄次郎		古賀木綾子	高木本規	沼口中冬	
上江下美穂子		櫻田亮子※	日藤隆秀	音 楽 教 育	
佐々木典三子		菅嶋眞佐子	三吉井瑞穂	市川恵子	
手中嶋郁子		萩原儀浩		山下薫	
与吉田浩之		室 内 楽		ソルフェージュ	
		日高剛也	山崎勝子	山田武彦	
ピ ア ノ		古 楽		音 楽 文 芸	
青柳晋		大塚直哉		大森晋輔	
東森誠三		野々下由香里		白鳥まや	
有藤博惠※				杉本和真	
伊藤玲春		指 揮		侘美瞬一郎	
江坂千春		山下一史		音 楽 音 響 創 造	
坂實川風也		邦 楽		亀川徹	
津田裕也		<三味線音楽>		後藤文淳	
野原みどり		<味見純代		田村文淳	
萩原麻未		柴田靖代		丸井	
オルガン		<箏曲>			
廣江理枝		帯名久仁子			
		萩岡未貴			
弦 楽		<尺八>			
池松宏彦		藤原道山			
市坪俊太郎		<能楽>			
植村朝子		藤波重彦			
漆原朝子		水上優			
尾池美採		<邦楽囃子>			
玉井菜健		盧慶順			
中木健二					

- (注) 1. 合格者は、入学手続き書類の指示に従い「履修情報登録フォーム」に研究室名及び教員名を入力すること。
2. 入学後、大学側の事情により所属研究室・指導教員が変更された場合には、その変更に従うこと。
3. 氏名欄に※印のある教員は、2026年3月31日に退職する。

XVII 個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護に関する法律（以下「個人情報保護法」という。）により、本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報の利用については、入学者選抜に係わる業務のほか、次のとおりとする。

1. 利用目的について

- (1) 合格者の住所・氏名等の個人情報を入学手続きに係わる業務で利用する。
- (2) 入学手続き者の住所・氏名等の個人情報を入学後の学籍管理等の修学に係わる業務並びに健康診断等の保健管理に係わる業務で利用する。
- (3) 入学手続き者の住所・氏名等の個人情報を入学料並びに授業料徴収等の納付金管理に係わる業務で利用する。
- (4) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を1年次における入学料免除及び授業料免除並びに奨学生選考等の修学支援に係わる業務で利用する。
- (5) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を個人が特定できない形で統計処理等の付随する業務及び入学案内業務並びに本学における入学者選抜に関する調査研究で利用する。

2. 第三者への個人情報の提供について

本学が取得した個人情報は、「個人情報保護法」第69条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはない。

ただし、次の場合必要最低限の情報を提供することがある。

- (1) 上記1.(1)~(5)の個人情報を取扱う業務を、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結したうえで、外部の事業者へ委託する場合
- (2) 本人の利益となる次の学外関係者に情報提供する場合
 - ①音楽教育振興会（音楽学部の教育研究、学生の課外活動などを支援するための学生の父母により組織される会）
 - ②杜の会（美術学部同窓会）
 - ③同声会（音楽学部同窓会）
 - ④東京芸術大学生生活協同組合
 - ⑤キャンパス環境整備支援会（本学のキャンパス環境の充実を図るため、本学の施設整備費等に対し助成を行う会）

(注1) この日程は、出願状況によって変更することがあるので、志願者本人が、
 表中の日程発表日時に本学「入試情報サイト」で確認すること。
 (注2) 試験日をまちがえた場合は、受験資格を失うので十分注意すること。
 (注3) 合格者発表は受験番号で行うので、発表日まで受験票を保管すること。

XVIII 2026年度 大学院音楽研究科（修士課程）入学者選抜試験日程表

○記載例
 9：30～…試験開始時刻（集合時間は別途発表）

専攻・研究分野 日程	作曲			器楽							指揮	邦楽	音楽文化学					志願者 集合場所		
	作曲	エクリチュール	声楽	オペラ	ピアノ	オルガン	弦楽	管楽	打楽	室内楽			古楽	音楽学	音楽教育		ソルフェージュ		音楽文芸	音楽音響創造
															一般	社会人				
2025年 9月15日(月)	入学試験実施について日程（集合時刻、試験時刻等）および注意事項を14時以降に本学「入試情報サイト」で発表する。（必ず志願者自身が見て確認すること。）※作曲専攻志願者の日程は2026年2月5日(木)14時以降に発表する。																	日程発表		
16日(火)			専攻実技第1回		試奏日（レジスター・タイム）					専攻実技	BOrg 試奏日（レジスター・タイム）									
17日(水)	音楽教育（作曲）の作品審査・口述試問		専攻実技第1回		試奏日（レジスター・タイム）		Hr・Tp・Ttb Btb・Euph・Tu 専攻実技		専攻実技		BOrg 試奏日（レジスター・タイム）			楽器等の実技試験（作曲・声楽・金管・打楽）						
18日(木)			第1次合格者発表日程等揭示 14：00以降	専攻実技	専攻実技		Fl・Cl Fg・Sx 専攻実技				BOrg 専攻実技 FP・Cemb 試奏日、専攻実技			楽器等の実技試験（ピアノ・オルガン・Fl・Cl・Fg・Sx・Borg）		ピアノ実技試験				
19日(金)				専攻実技		専攻実技					専攻実技（BOrg 通奏低音を含む）		専攻実技 音楽に関する基礎能力検査	楽器等の実技試験（ピアノ・弦楽古楽・邦楽）		ピアノ実技試験				
20日(土)			専攻実技第2回	専攻実技		専攻実技	Ob 専攻実技							楽器等の実技試験（ピアノ・弦楽・Ob）		ピアノ実技試験				
21日(日)			専攻実技第2回									専攻実技		音楽学 10：00～12：00 音楽学の筆記試験（音楽学）		記述試験 13：00～15：00		聴聴試験・ 記述試験 13：00～16：00		
22日(月)			第2次合格者発表日程等揭示 14：00以降	第1次合格者発表日程等揭示 14：00以降							日程等揭示（合格発表なし） 14：00以降									
23日(火)	音楽史 10：00～12：00、語学 13：00～																			
24日(水)																				
25日(木)														音楽に関する基礎能力検査（他大学出身者のうち指定された受験者） 9：30～	専攻論文 13：00～		専攻論文 10：00～12：00	口述試問		
26日(金)														口述試問 小論文 9：30～ 口述試問	研究計画 9：30～ 口述試問	ソルフェージュ試験、 口述試問	口述試問	口述試問		
27日(土)																				
28日(日)																				
29日(月)																				
30日(火)	最終合格者発表（作曲専攻を除く）14時以降																			

5109（大講義室）

2026年 2月5日(木)	日程発表 14：00以降																	
6日(金)		4声アリア作曲																
7日(土)	音楽史 10：00 語学 13：00																	
9日(月)		和声アルテルネ課題																
10日(火)	作品審査、 口述試問	作品審査、口述 試問、数字付き パス他含む																
13日(金)	最終合格者発表 14：00以降																	

5109（大講義室）

※用紙を A4 サイズで両面印刷し，氏名は裏面に記入すること。
 ※提出前に必ずコピーをとり保管すること。

② 2026年度 受験曲目提出用紙〔声楽専攻志願者用〕

専攻	声種	受験番号
声楽		※

記号等	分野	作曲者	曲目	演奏時間
第1回試験				
第2回試験				
イ				
ロ				
ハ				
ニ				

- (注) 1. 第2回試験の指定曲については，当日本学が記号（イ・ロ・ハ・ニ）で指定するので，この用紙のコピーを当日持参すること。
2. 音楽教育（一般入試）志願者で，実技を声楽により受験する場合は，上記の第1回試験曲目提出の欄に1曲のみ記入すること。
3. ※印欄は，記入しないこと。
4. この用紙は，出願時に提出すること。
5. 志願者，伴奏者共に楽譜使用が認められている試験におけるタブレット端末の使用を禁止する。

(ふりがな)

氏 名

※用紙を A4 サイズで両面印刷し，氏名は裏面に記入すること。
 ※提出前に必ずコピーをとり保管すること。

③ 2026年度 受験曲目提出用紙〔オペラ専攻志願者用〕

専攻	声種	受験番号
オペラ		※

記号等	分野	作曲者	曲目	演奏時間
第1回試験	A			
第2回試験				
イ	B			
ロ				
ハ	C			
ニ				

- (注) 1. 第2回試験の指定曲については，当日本学が記号（イ・ロ・ハ・ニ）で指定するので，この用紙のコピーを当日持参すること。
 2. ※印欄は，記入しないこと。
 3. この用紙は，出願時に提出すること。
 4. 志願者，伴奏者共に楽譜使用が認められている試験におけるタブレット端末の使用を禁止する。

(ふりがな)

氏 名

※用紙を A4 サイズで両面印刷し，氏名は裏面に記入すること。
 ※提出前に必ずコピーをとり保管すること。

④ 2026年度 受験曲目提出用紙〔ピアノ研究分野志願者用〕

研究分野	受験番号
ピ ア ノ	※

〔プログラムⅠ〕

作品	作曲者名	曲名（原語と邦訳で記入）	調名・作品番号	演奏時間
a				
b				

〔プログラムⅡ〕

作品	作曲者名	曲名（原語と邦訳で記入）	調名・作品番号	演奏時間
a				
b				

- (注) 1. ※印欄は，記入しないこと。
 2. この用紙は，出願時に提出すること。
 3. 曲目は，原語と邦訳で記入すること。
 4. a b 欄に複数曲を書いても良い。
 5. 志願者，伴奏者共に楽譜使用が認められている試験におけるタブレット端末の使用を禁止する。

(ふりがな)

氏 名

※用紙を A4 サイズで両面印刷し，氏名は裏面に記入すること。
 ※提出前に必ずコピーをとり保管すること。

⑤ 2026年度 受験曲目提出用紙〔オルガン研究分野志願者用〕

研究分野	受験番号
オルガン	※

課題曲	作曲者名	曲名	調名
(1)			
(2)			
(3)			

アシスタントの必要の有無 [有 ・ 無] アシスタントは本学が用意する。
 (どちらかに○をつける)

- (注) 1. ※印欄は，記入しないこと。
 2. この用紙は，出願時に提出すること。
 3. 音楽教育（一般入試）志願者で，実技をオルガンにより受験する場合も，本用紙を提出すること。
 4. 志願者，伴奏者共に楽譜使用が認められている試験におけるタブレット端末の使用を禁止する。

(ふりがな)

氏 名

※用紙を A4 サイズで両面印刷し，氏名は裏面に記入すること。

※提出前に必ずコピーをとり保管すること。

⑥ 2026年度 受験曲目提出用紙 【○弦楽研究分野志願者用】

楽 器 等	受験番号
※	※

楽器名	選 択 し た 課 題 曲 等

(注) 1. ※印欄は，記入しないこと。

2. この用紙は，出願時に提出すること。

3. 音楽教育（一般）志願者で，実技を弦楽により受験する場合も，本用紙を提出すること。

4. 志願者，伴奏者共に楽譜使用が認められている試験におけるタブレット端末の使用を禁止する

(ふりがな)

氏 名

※用紙を A4 サイズで両面印刷し，氏名は裏面に記入すること。
 ※提出前に必ずコピーをとり保管すること。

⑦ 2026年度 受験曲目提出用紙

- 管打楽研究分野志願者用
- 指揮研究分野志願者用

楽 器 等	受験番号
※	※

楽器名	作曲者名	曲 名	調名

- (注)
1. 管打楽研究分野で課題曲選択がある場合は，選択した曲も記入すること。
 2. 課題曲選択，自由曲及び自由選択曲が課せられていない楽器の志願者は提出不要。
 3. ※印欄は，記入しないこと。
 4. この用紙は，出願時に提出すること。
 5. 音楽教育（一般）志願者で，実技を課題曲選択のある管打楽により受験する場合も，本用紙を提出すること。
 6. 志願者，伴奏者共に楽譜使用が認められている試験におけるタブレット端末の使用を禁止する。
 7. 管打楽研究分野フルート志願者は自由曲で演奏する作品の楽譜をコピーし、事前に郵送にて提出すること。
 8. 管打楽研究分野打楽器志願者および音楽教育（一般）志願者で実技を打楽器選択により受験する者は、必要書類⑦「受験曲目提出用紙」と必要書類⑧「打楽器のセッティング図、使用楽器のリスト」を両方提出すること。

(ふりがな)

氏 名

※用紙を A4 サイズで両面印刷し、氏名は裏面に記入すること。
※提出前に必ずコピーをとり保管すること。

⑧ 2026年度 打楽器のセッティング図、使用楽器のリスト
〔○管打楽研究分野打楽器志願者用〕

楽 器 等	受験番号
※	※

セッティング図、および 使用楽器のリスト（※持ち込み楽器をマルで囲むこと。）

- (注)
1. セッティングの記入が 1 ページに収まらない場合は、ページを複製して提出すること。
 2. 大太鼓・マリмба等の大型楽器の持ち込みは出来ない。また、楽器の搬入・搬出のために車で大学構内に乗り入れる事は出来ない。

(ふりがな)

氏 名

※用紙を A4 サイズで両面印刷し、氏名は裏面に記入すること。
 ※提出前に必ずコピーをとり保管すること。

編成	
----	--

(いずれかに○)

I	個人	
II	グループ	

⑨ 2026年度 受験曲目提出用紙 室内楽研究分野志願者用

研究分野	受験番号
室内楽	※

作曲者名	曲名	調名

☆グループ受験の場合、共演者名を必ず記入すること。

共演者名	1.
	2.
	3.
	4.

- (注) 1. ※印欄は、記入しないこと。
 2. この用紙は、出願時に提出すること。
 3. 志願者、伴奏者共に楽譜使用が認められている試験におけるタブレット端末の使用を禁止する。

(ふりがな)

氏 名

※用紙を A4 サイズで両面印刷し，氏名は裏面に記入すること。

※提出前に必ずコピーをとり保管すること。

⑩ 2026年度 受験曲目提出用紙〔古楽研究分野志願者用〕

楽 器 等	受験番号
※	※

1. 演奏曲目

(志願する楽器名に○を付ける)

楽器名	作曲者名	曲名・楽章名
バロック 声楽		
・		
バロック ヴァイオリン		
・		
バロック チェロ		
・		
リコーダー		
・		
チェンバロ		
・		
バロック オルガン		
・		
フォルテ ピアノ		

2. アシスタントの必要の有無 [有 ・ 無] アシスタントは本学が用意する。

(バロックオルガン志願者のみどちらかに○を付ける。)

3. 伴奏用チェンバロとして， a'=440 のフレンチタイプ (音域 FF-f''， 8'8''4 ヤング第 2 調律) の使用希望の有無

[有 ・ 無]

(バロック声楽志願者のみどちらかの○を付ける)

(注) 1. ※印欄は，記入しないこと。

2. この用紙は，出願時に提出すること。

3. 音楽教育 (一般入試) 志願者で，実技を古楽により受験する場合も，本用紙を提出すること。

4. 志願者，伴奏者共に楽譜使用が認められている試験におけるタブレット端末の使用を禁止する。

(ふりがな)

氏 名

※用紙を A4 サイズで両面印刷し，氏名は裏面に記入すること。
※提出前に必ずコピーをとり保管すること。

(いずれかに○)

琴古流	
都山流	

⑪ 2026年度 受験曲目提出用紙〔尺八研究分野志願者用〕

研究分野	受験番号
尺 八	※

琴古流・都山流それぞれの選択曲 2 曲

曲 名	
曲 名	

共通曲 1 曲

曲 名	
-----	--

- (注) 1. ※印欄は，記入しないこと。
2. この用紙は，出願時に提出すること。
3. 音楽教育（一般）志願者で，実技を邦楽（尺八）により受験する場合も，本用紙を提出すること。
4. 志願者，伴奏者共に楽譜使用が認められている試験におけるタブレット端末の使用を禁止する。

(ふりがな)

氏 名

※用紙を A4 サイズで両面印刷し，氏名は裏面に記入すること。
 ※提出前に必ずコピーをとり保管すること。

⑫ 2026年度 受験曲目提出用紙〔能楽囃子研究分野志願者用〕

研究分野	受験番号
能楽囃子	※

該当事項を○で囲むこと。

専攻	相手方	笛	太鼓
笛（一噌流）			有・無
小鼓（幸流）	} 一噌流		有・無
大鼓（高安流）			有・無
太鼓（観世流）			

- (注) 1. ※印欄は，記入しないこと。
 2. この用紙は，出願時に提出すること。
 3. 音楽教育（一般）志願者で，実技を邦楽（能楽囃子）により受験する場合も，本用紙を提出すること。
 4. 志願者，伴奏者共に楽譜使用が認められている試験におけるタブレット端末の使用を禁止する。

(ふりがな)

氏 名

※用紙を A4 サイズで両面印刷し，氏名は裏面に記入すること。
※提出前に必ずコピーをとり保管すること。

⑬ 2026年度 ピアノ実技試験曲目提出用紙
〔ソルフェージュ研究分野志願者用〕

研究分野	受験番号
ソルフェージュ	※

演奏曲

	作曲者名	曲名
1)		
2)	Chopin	

- (注) 1. ※印欄は，記入しないこと。
2. この用紙は，出願時に提出すること。
3. 志願者，伴奏者共に楽譜使用が認められている試験におけるタブレット端末の使用を禁止する。

(ふりがな)

氏 名

※用紙を A4 サイズで両面印刷し，氏名は裏面に記入すること。
 ※提出前に必ずコピーをとり保管すること。

⑭ 2026年度 受験曲目提出用紙
 [音楽教育研究分野(一般入試) 志願者用]

『「楽器等の実技試験」または「音楽学の筆記試験」』の
 「ピアノ」受験者用

研究分野	受験番号
音楽教育	※

演奏曲

	作曲者名	曲名
1)		
2)	Chopin	

- (注) 1. ※印欄は，記入しないこと。
 2. この用紙は，出願時に提出すること。
 3. 志願者，伴奏者共に楽譜使用が認められている試験におけるタブレット端末の使用を禁止する。

(ふりがな)

氏 名

※用紙を A4 サイズで両面印刷し，氏名は裏面に記入すること。
 ※提出前に必ずコピーをとり保管すること。

⑮ 2026年度 受験曲目提出用紙
 [音楽に関する基礎能力検査「ピアノ」志願者用]

研究分野	受験番号
※	※

志願する研究分野に○をつけること。	音楽学
	音楽教育（一般入試）

演奏曲

作曲者名	作品番号	調性	楽章

- (注) 1. ※印欄は，記入しないこと。
 2. この用紙は，出願時に提出すること。
 3. 志願者，伴奏者共に楽譜使用が認められている試験におけるタブレット端末の使用を禁止する。

(ふりがな)

氏 名

※用紙を A4 サイズで両面印刷し，氏名は裏面に記入すること。
※提出前に必ずコピーをとり保管すること。

⑩ 2026年度 受験曲目提出用紙

〔音楽に関する基礎能力検査「ピアノ」をピアノ以外の楽器で受験する志願者〕

楽器名

--

研究分野	受験番号
音楽学	※

演奏曲

作曲者名	作品番号	調性	楽章

- (注) 1. ※印欄は，記入しないこと。
2. この用紙は，出願時に提出すること。
3. 志願者，伴奏者共に楽譜使用が認められている試験におけるタブレット端末の使用を禁止する。

(ふりがな)

氏 名

※用紙を A4 サイズで両面印刷し，氏名は裏面に記入すること。
 ※提出前に必ずコピーをとり保管すること。

⑰ 2026年度 受験曲目提出用紙

〔邦楽専攻 音楽に関する基礎能力検査科目 受験曲目提出用紙〕

研究分野等	受験番号
※	※

志願する 研究分野等	研究分野名	
	楽器名・流派	

基礎能力検査 科目（実技楽器）名	曲目名・作曲者名

- (注) 1. ※印欄は，記入しないこと。
 2. この用紙は，出願時に提出すること。
 3. 提出は，尺八，能楽，能楽囃子，邦楽囃子，日本舞踊各研究分野志願者のうち他
 大学出身者。
 4. 志願者，伴奏者共に楽譜使用が認められている試験におけるタブレット端末の使
 用を禁止する。

(ふりがな)

氏 名

※提出前に必ずコピーをとり保管すること。

(ふりがな) 氏 名

⑱ 2026年度 研究計画書(2)〔音楽音響創造研究分野志願者用〕

研究分野	受験番号
音楽音響創造	※

〔1〕研究題目「」

〔2〕入学後の研究計画を2000～3000字で具体的に記述すること。

A large rectangular area defined by a dashed border, intended for input or content.

- (注) 1. ※印欄は、記入しないこと。
2. この用紙は、出願時に提出すること。

